



神奈川県

厚木保健福祉事務所大和センター

令和5年度

厚木保健福祉事務所

大和センター年報

神奈川県厚木保健福祉事務所大和センター

目 次

	頁
第1章 概 要	
1 管内の概要	1
(1) 管内の概況	1
(2) 面積・世帯数・人口等	2
(3) 保健・医療・福祉施設総括表	2
(4) 外国籍県民の概況（国籍別外国人登録者の推移）	3
2 保健福祉事務所の概要	4
(1) 沿革	4
(2) 歴代の保健所長・保健福祉事務所長	5
(3) 機構及び所管事務（令和5年4月1日現在）	6
(4) 職員の配置状況（令和5年6月1日現在）	7
(5) 施設の現況	7
(6) 予算執行状況	9
(7) 令和5年度主要事業の概要	10
(8) 各種計画・指針	14
第2章 管理・企画調整業務	
1 かながわ健康プラン21の推進等	19
2 各種協議会等	19
3 医務	21
4 病院等立入検査	23
5 献血推進事業	24
6 神奈川県保健衛生表彰	25
7 人材養成	26
8 保健師業務	27
9 各種調査実施状況	29
10 健康危機管理対策の推進	30
第3章 保健福祉業務	
1 母子保健	31
2 健康づくり・がん対策	36
3 歯科保健	38
4 栄養・食生活	43

5	小児医療援護	48
6	母子・父子・寡婦福祉資金	49
7	介護保険	49

第4章 保健予防業務

1	精神保健福祉	51
2	認知症対策	56
3	感染症予防対策	57
4	エイズ（性感染症）予防	60
5	結核予防	62
6	指定難病等対策	65
7	臓器移植対策事業	66
8	原爆被爆者援護対策（被爆者福祉対策事業）	67
9	肝臓疾患相談事業	67
10	石綿による健康被害の救済支援事業	68

第5章 環境衛生・薬事関係業務

1	環境衛生営業施設指導	69
2	生活環境施設指導	70
3	温泉施設指導	72
4	動物保護	72
5	薬事衛生施設指導	73

第6章 食品衛生業務

1	食品営業施設の監視指導	77
2	自主衛生管理の推進	82
3	食品衛生知識の普及啓発	82

第7章 研究発表等

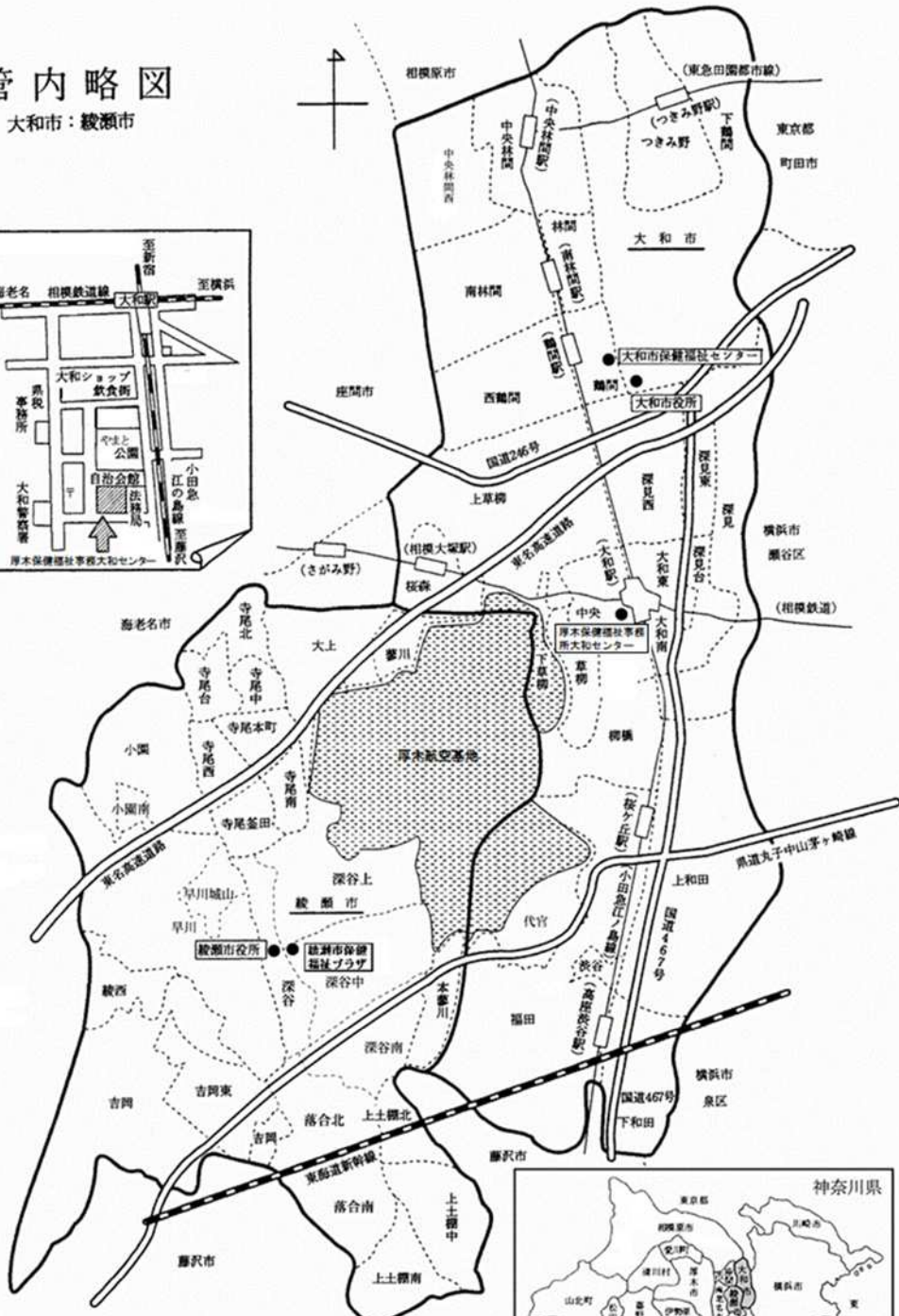
	令和5年度学会等発表一覧	85
--	--------------	----

凡例

計数のない場合	空欄
計数不明の場合	…
統計項目がありえない場合	.
比率が微小（0.05未満）	0.0
敬称略	

管内略図

大和市：綾瀬市



第 1 章 概 要

1 管内の概要

(1) 管内の概況

厚木保健福祉事務所大和センター（以下、「大和センター」という。）の所管する地域は、神奈川県ほぼ中央部に位置する大和市と綾瀬市の2市で、管内の面積は、49.23km²、令和6年1月1日現在の人口は、326,583人（神奈川県人口統計調査）である。

ア 大和市の概況

大和市は、面積27.09km²で南北に細長く、丘陵起伏のほとんどない台地である。鉄道は、中央部を東西に相鉄線、南北に小田急江ノ島線、北部に東急田園都市線が走り、道路網は、主なものに国道246号線や同467号線、主要地方道丸子中山茅ヶ崎線があり、交通の利便性に恵まれている。

昭和34年2月1日に県下で14番目の市として市制が施行され、平成12年11月1日に特例市となった。

令和6年1月1日現在の人口は、243,624人で人口密度は、1km²当り8,993人であり、県下では川崎市に次いで2番目の過密都市となっている。

昭和63年3月に「大和市保健福祉センター」を設置し、市民の健康づくりや福祉活動に取り組んでいる。

イ 綾瀬市の概況

綾瀬市は、面積22.14km²、自然環境に恵まれた相模野台地に位置し、大和市、海老名市、藤沢市に接している。昭和35年頃までは、純農村地帯であったが、高度経済成長期以降は横浜まで約20km、都心へも約40kmという地理的条件から、工業団地、住宅団地が開発され急速に都市化が進み、昭和53年11月1日に県下で19番目の市として市制が施行された。

市内を横断する東名高速道路と県道藤沢座間厚木線の交点に、令和3年3月綾瀬スマートインターチェンジが設置され、物流の拠点となっている。

令和6年1月1日現在の人口は、82,959人で人口密度は、1km²当り3,747人である。

昭和59年12月に「綾瀬市保健医療センター」を設置し、市民の健康づくりの取り組みを進めてきたが、平成29年10月1日に新たに「綾瀬市保健福祉プラザ」を開所し、福祉、介護、保健、医療の連携拠点として業務を行っている。

(2) 面積・世帯数・人口等

ア 面積・世帯数・人口

	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人 口		1世帯当 り人員 (人/世帯)	人口密度 (人/km ²)	老 齢 人 口		児 童 数		
			総数 (人)				65歳以上 (人)	人 口 比 (%)	6歳未満	6歳以上 18歳未 満	計
大和市	27.09	115,699	243,624		2.11	8,993	57,440	23.6	11,506	24,226	35,732
綾瀬市	22.14	35,627	82,959		2.33	3,747	22,837	27.5	3,446	9,450	12,896
計	49.23	151,326	326,583		2.16	6,634	80,277	24.6	14,952	33,676	48,628
時 点 出 所	R6.1.1(神奈川県人口統計調査結果)						R6.1.1※ (神奈川県年齢別人口 統計調査結果)		R6.1.1 (市役所ホームページ住民 基本台帳年齢別人口)		

イ 人口の推移 (各年1月1日現在)

(人)

	29年	30年	31年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
大和市	234,138	235,378	235,816	237,894	239,644	241,583	243,067	243,624
綾瀬市	84,367	84,250	84,307	84,484	83,745	83,304	83,235	82,959
計	318,505	319,628	320,123	322,378	323,389	324,887	326,302	326,583

*神奈川県人口統計調査結果

ウ 65歳以上人口の推移 (各年1月1日現在)

(人)

	29年	30年	31年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
大和市	54,932	55,922	56,565	57,205	56,802	57,078	57,190	57,440
割合	23.6%	23.9%	24.1%	24.2%	23.7%	23.6%	23.5%	23.6%
綾瀬市	22,379	22,746	23,008	23,166	23,174	23,214	23,007	22,837
割合	26.7%	27.1%	27.4%	27.6%	27.7%	27.9%	27.6%	27.5%
計	77,311	78,668	79,573	80,371	79,976	80,292	80,197	80,277
割合	24.3%	24.8%	25.0%	24.9%	24.7%	24.7%	24.6%	24.6%

*神奈川県年齢別人口統計調査結果

(3) 保健・医療・福祉施設総括表

ア 医療関係施設の状況 (令和6年3月31日現在)

	医療施設等 ()は病床数					薬事施設		施術所	
	病 院	一 般 診療所	歯 科 診療所	助産所	歯科 技工所	薬 局	医薬品 販売業	あんま・ はり・灸	柔道整復
総 数	10(1,775)	209(68)	167	9	42	137	77	217	122
大和市	9(1,607)	178(39)	141	6	33	115	57	183	104
綾瀬市	1(168)	31(29)	26	3	9	22	20	34	18

(4) 外国籍県民の概況（国籍別外国人登録者の推移）

		総 数	中国	ベトナム	韓国	フィリピン	ネパール	ブラジル	インドネシア	インド	その他
神奈川県	R5年	239,301	70,390	29,203	26,733	24,358	9,564	8,606	5,575	6,719	58,153
	R6年	260,163	74,592	34,186	26,770	25,574	11,928	8,880	8,215	7,312	62,783
管内計	R5年	11,931	1,802	2,437	855	1,127	234	902	294	114	4,166
	R6年	12,733	1,911	2,841	830	1,176	267	905	414	107	4,282
大和市	R5年	7,524	1,559	1,269	706	935	217	293	190	99	2,256
	R6年	8,045	1,628	1,545	685	963	246	292	271	89	2,326
綾瀬市	R5年	4,407	243	1,168	149	192	17	609	104	15	1,910
	R6年	4,688	283	1,296	145	213	21	613	143	18	1,956

* 数字は令和6年1月1日現在

* 神奈川県国際課：外国人登録者統計：市(区)町村別主要国・地域別外国人数

2 保健福祉事務所の概要

(1) 沿革

昭和28年1月29日	大和市下鶴間3166番地に藤沢保健所大和出張所として発足、 所管区域は大和町
昭和31年11月1日	保健所法に基づく支所に昇格、藤沢保健所大和支所と改称
昭和34年2月1日	大和町が大和市となり、所管区域が1市となる。
昭和40年4月1日	大和市中心1丁目5番26号に庁舎新築 保健所に昇格し、大和保健所と改称、所管区域が大和市、綾瀬 町の1市1町となる。
昭和45年7月16日	次長制の施行、保健婦室の設置
昭和47年3月31日	犬管理センター設置により、犬拘留所廃止
昭和53年11月1日	綾瀬町が市となり、所管区域が2市となる。
昭和58年6月1日	保健婦室が、健康指導課となる。
昭和61年4月1日	試験検査部門を厚木保健所に統合
平成4年4月1日	衛生課を環境衛生課、食品衛生課に分割
平成9年4月1日	組織変更により大和保健所と県央地区行政センター福祉部が 統合し、大和保健福祉事務所となる。また、健康指導課を廃止 し、保健福祉課を新設した。
平成20年4月1日	管理課が、管理企画課となる。
平成26年4月1日	保健福祉事務所の再編・統合により名称を見直し、厚木保健福 祉事務所大和センターとなる。

(2) 歴代の保健所長・保健福祉事務所長

大和保健所所長

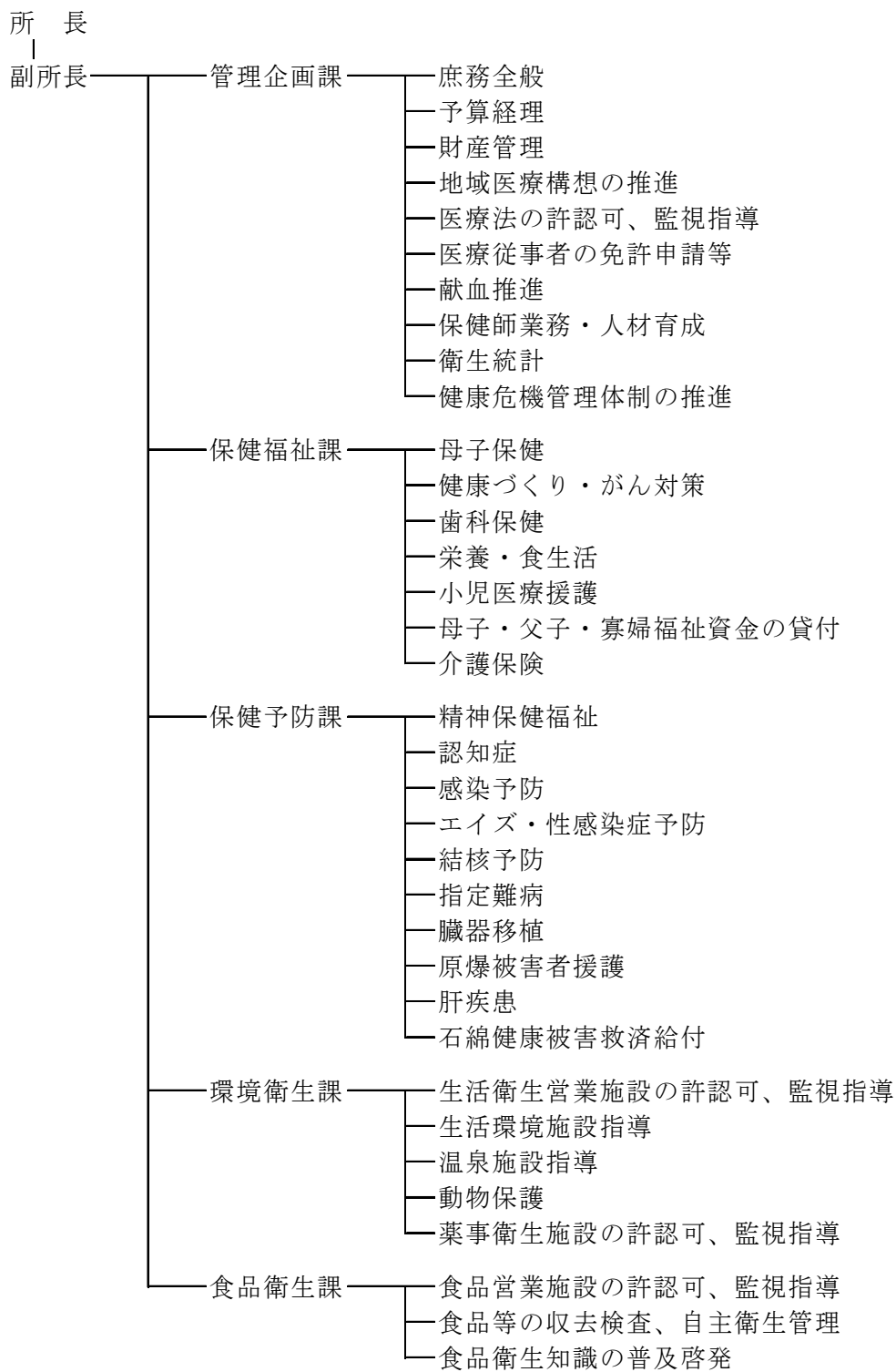
初代	前田	実	(昭和40年4月1日～昭和42年8月9日)
2代	鈴木	孝次	(昭和42年8月10日～昭和46年6月1日)
3代	高橋	賢従	(昭和46年6月2日～昭和47年9月30日)
4代	榊原	高尋	(昭和47年10月1日～昭和49年7月31日)
5代	上田	春人	(昭和49年8月1日～昭和51年7月15日)
6代	佐久間	正美	(昭和51年7月16日～昭和55年7月31日)
7代	山本	頼祇	(昭和55年8月1日～昭和56年5月31日)
8代	中倉	千鶴子	(昭和56年6月1日～昭和58年5月31日)
9代	笹川	洋之助	(昭和58年6月1日～昭和62年5月31日)
10代	風戸	計民	(昭和62年6月1日～平成3年3月31日)
11代	内藤	佳次	(平成3年4月1日～平成3年5月31日)
12代	村上	賢二	(平成3年6月1日～平成5年3月31日)
13代	堀井	昌子	(平成5年4月1日～平成9年3月31日)

大和保健福祉事務所所長、厚木保健福祉事務所大和センター所長

初代	堀井	昌子	(平成9年4月1日～平成11年5月31日)
2代	西平	浩一	(平成11年6月1日～平成13年3月31日)
3代	有田	禎二	(平成13年4月1日～平成15年3月31日)
4代	鈴木	仁一	(平成15年4月1日～平成16年3月31日)
5代	山徳	みゑ	(平成16年4月1日～平成18年3月31日) 厚木HWC※兼務
6代	岡部	英男	(平成18年4月1日～平成19年3月31日) 厚木HWC※兼務
7代	長谷川	嘉春	(平成19年4月1日～平成20年3月31日)
8代	河西	悦子	(平成20年4月1日～平成20年8月31日) 厚木HWC※兼務
9代	牧野	ゆり子	(平成20年9月1日～平成24年3月31日)
10代	中澤	よう子	(平成24年4月1日～平成25年3月31日)
11代	中井	信也	(平成25年4月1日～令和3年3月31日)
12代	大久保	久美子	(令和3年4月1日～令和5年3月31日)
13代	西海	昇	(令和5年4月1日～)

※厚木HWCは、「厚木保健福祉事務所」の略称

(3) 機構及び所管事務 (令和5年4月1日)



(4) 職員の配置状況（令和5年6月1日現在）

	一般事務職	福祉職	医師	歯科衛生士	管理栄養士	保健師	狂犬病予防員	衛生監視員	自動車運転職	電話交換職	小計	再任用職員	臨時的任用職員	会計年度任用職員	総数
所 長			1								1				1
副 所 長	1										1				1
管理企画課	4					1				1	6	2		2	10
保健福祉課	1			1	2	3					7			4	11
保健予防課	2	2	4			7					15	2	1	1	19
環境衛生課							1	2			3	1			4
食品衛生課								5			5			1	6
合 計	8	2	5	1	2	11	1	7	0	1	38	5	1	8	52

(5) 施設の現況

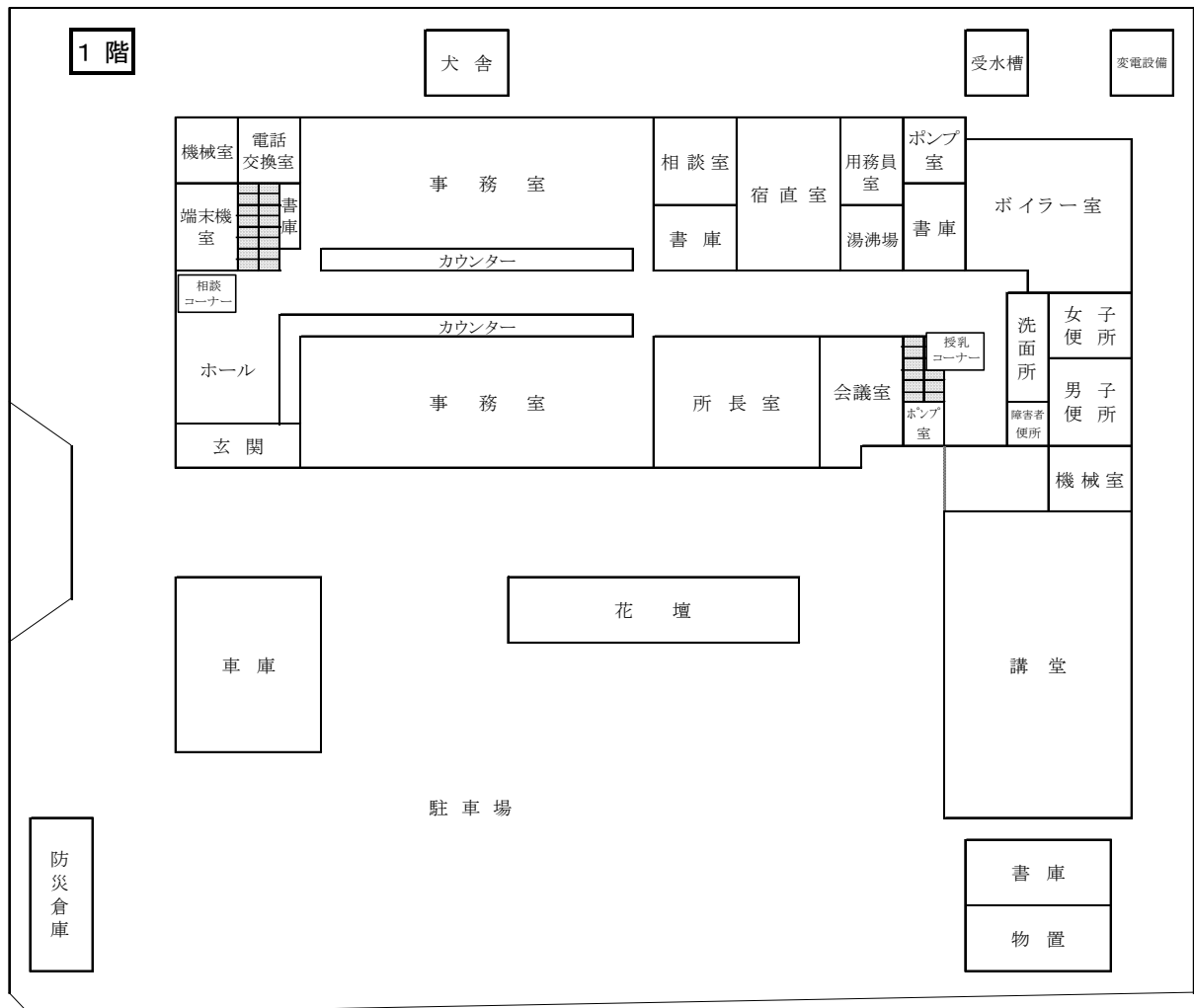
ア 土 地

用 途	所 在 地	面積m ²	所有区分	所有年月日
庁舎敷地	大和市中央1丁目5番26号	2,398.50	県 有	昭和40年9月6日

イ 建 物

用 途	面積m ²	構 造	所有区分	取得年月日
庁 舎	1,342.47	RC造2階建	県 有	昭和40年3月31日
書庫及び倉庫	36.96	鉄筋平屋	県 有	昭和44年7月18日
犬 舎	7.04	コンクリートブロック平屋	県 有	昭和44年7月18日
計	1,386.47			

ウ 庁舎平面図



2 階



(6) 予算執行状況

ア 収入状況

(単位：円)

	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
使用料及び手数料	13,149,992	14,209,774	△1,059,782
財産収入	105,556	212,640	△107,084
諸収入	72,200	77,330	△5,130
計	13,327,748	14,499,744	△1,171,996

イ 支出状況

(ア) 一般会計

(単位：円)

	決 算 額		
	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
総務費	34,765,157	34,077,187	687,970
(総務管理費)	(34,765,157)	(34,077,187)	(687,970)
民生費	1,126,248	1,664,148	△537,900
(社会福祉費)	(46,982)	(57,497)	(△10,515)
(児童福祉費)	(701,698)	(1,279,821)	(△578,123)
(障害福祉費)	(146,496)	(145,565)	(931)
(老人福祉費)	(231,072)	(181,265)	(49,807)
衛生費	25,909,024	19,714,345	6,194,679
(公衆衛生費)	(4,777,491)	(4,566,170)	(211,321)
(環境衛生費)	(594,165)	(469,728)	(124,437)
(保健所費)	(20,399,404)	(14,542,831)	(5,856,573)
(医薬費)	(137,964)	(135,616)	(2,348)
計	61,800,429	55,455,680	6,344,749

(イ) 母子父子寡婦福祉資金会計

(単位：円)

	決 算 額		
	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
母子父子寡婦福祉資金	1,004	4,188	△3,184
(事務費)	(1,004)	(4,188)	(△3,184)

(ウ) 国民健康保険事業会計

(単位：円)

	決 算 額		
	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較増減 (A) - (B)
国民健康保険事業	36,000	0	36,000
(国民健康保険事業費)	(36,000)	(0)	(36,000)

(7) 令和5年度主要事業の概要

ア 保健医療計画の推進

厚木保健福祉事務所と連携し、地域の保健医療の課題の解決に向けて取り組みました。

また、平成28年10月に策定された地域医療構想については、課題の共有化を図るなどして関係機関と連携し、構想実現に向けた取り組みを実施しています。

- ・ 県央地区保健医療福祉推進会議

イ 学校、職域、地域の連携強化による健康づくり

「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」に基づき、「学校、職域、地域の連携強化による健康づくり」を推進しています。

(ア) 職域のメンタルヘルス及び生活習慣病予防対策の推進

- ・ 県央地区地域・職域連携推進協議会

(イ) 児童生徒の健全な発育と健康の保持及び増進

- ・ 大和・綾瀬学校保健協議会

ウ 健康危機管理対策の推進

管内において食中毒、毒物劇物、感染症、飲料水、医薬品など何らかの原因により生命と健康の安全を脅かす事態が発生又は発生する恐れがある場合に、健康被害の発生予防、治療、拡大防止を円滑に行うため、それぞれのマニュアルに基づき対応します。

また、県央地域の災害医療対策については、厚木保健福祉事務所と連携し、関係機関との協議によりその取り組みを進めています。

- ・ 県央地域災害医療対策会議

エ 母子保健事業の充実

小児慢性特定疾病にかかっている児童等について、医療費の自己負担の一部を助成します。

また、医療的ケア児とその家族の支援体制の推進を目的に、災害時個別支援計画の作成、医療的ケア児の家族を対象とした交流会、支援者向けの研修会、母子保健委員会部会を開催します。

オ 健康づくりの推進

市が実施する健康増進事業の円滑な実施及び推進のため、健康増進事業及び糖尿病重症化予防に関する市町村自己評価のヒアリングや、会議及び研修を実施します。

医療保険課・国保連合会が行う国保データヘルス計画に基づく保健事業の推進等の事業に、厚木保健福祉事務所とともに協力をします。

また、データを活用できる人材育成や、健康増進課から提供された地域のデータを活用した地域課題の分析等につなげるための研修会を開催します。

カ がん検診受診促進事業

がん検診の受診率向上のため、県民および地域企業の事業主に対してがん検診のパンフレットの配布やイベントにて普及啓発します。

キ 歯科保健対策の充実

「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例」に基づき、歯及び口腔の健康づくり推進委員会を開催し、管内関係機関と連携して生活保護家庭幼児等の歯科保健を推進します。また、重度う蝕ハイリスク児や障がい児等に対する歯科相談・指導、オーラルフレイル健口推進員の養成・育成研修を実施するとともに、歯科医師会や市とともに災害時歯科の体制づくりを推進します。

ク 食生活対策の充実

地域特性に応じた栄養・食生活対策推進のために、特定給食施設の状況把握や食品の栄養成分表示に関する事前相談・適正化指導を行います。

また、居宅要介護者への適切な栄養管理につながることを目的に、地域食生活対策推進協議会を開催し、介護支援専門員との連携方法・地域の支援体制を検討します。

ケ 精神保健福祉対策の推進

精神疾患の早期発見・早期治療・再発予防を目的に相談・訪問を行うとともに、精神障害者の社会参加支援と障害への理解を深めることを目的に地域住民への普及啓発を図ります。

また、地域特性に応じた精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指し、地域精神保健福祉連絡協議会、担当者会議、研修などを開催するとともに、措置入院者等に対して退院後に必要な医療等の包括的な支援を適切かつ円滑に受けることができるよう、本人の同意を得たうえで計画を作成し、退院後支援を行います。

コ 認知症疾患対策

認知症疾患等とその家族に対して、保健師・ケースワーカー・精神科嘱託医による相談や家庭訪問を実施します。

また、若年性認知症を含め認知症に関する知識の普及を図るとともに、認知症等に関わる職員のスキルアップのための支援者対象研修会を開催します。

さらに、管内の認知症事業に関する取組み及び認知症等行方不明 SOS ネットワークの効果的な取組みを推進していくための管内認知症担当者連絡調整会議を実施します。

サ 感染症予防対策の推進

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症患者及びその接触者について疫学調査を実施するとともに二次感染防止のために保健指導を行います。

また、人権に配慮した迅速かつ適切な対応に努めるため、感染症診査協議会感染症部会を開催します。

感染症の発生状況を把握するため、届出による情報を収集し、また、観測定点を設け感染症発生動向調査を実施します。(令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症は、2類から5類に変更され、定点として感染症発生動向調査を実施)

さらに、感染症の感染拡大の防止に向けた情報の共有と、まん延防止に向けた推進体制の整備を図るため、新型インフルエンザ等地域医療体制対策会議・感染症対策会議を合同開催します。

シ エイズ対策の推進

青少年に対するエイズ、性感染症の正しい知識の普及・啓発のための講演会を管内の中学校高等学校に実施します。

また、エイズに関する相談を随時行うとともに、原則火曜日の午後に匿名・無料でH I V検査を実施します。

ス 結核対策の推進

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者に対し医療機関等と連携した服薬完遂のために、D O T S (Directly Observed Treatment, Short-course: 直接服薬確認療法) を推進し、結核の予防上必要があると認める時は健康診断(接触者健診)を実施し、感染拡大防止及び発病の早期発見に努めます。

セ 難病患者支援対策の推進

指定難病患者に対し、医療費助成手続き等の支援を行います。難病患者及びその家族に対し、在宅療養を支援するため、保健師による相談や家庭訪問を行います。

また、関係機関と連携し、難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向け難病委員会を開催します。

ソ 環境衛生対策の充実

環境衛生営業施設(理・美容所、旅館等)に対して、監視指導を実施するとともに、自主管理を推進することにより衛生の確保を図ります。

快適な生活環境の確保のため、特定建築物や浄化槽等について、適正な維持管理指導を行います。

犬、猫等の飼養者に対して、適正な飼養について助言、指導を行い、犬等による危害の発生等防止に努めるとともに、動物愛護思想の普及、啓発を図ります。

タ 医薬品等安全対策の充実

薬局等に対して、医薬品等の品質及び安全性を確保するため、医薬品等の適正な販売、保管、管理等を指導します。

薬物乱用防止対策を推進するため、関係団体等と連携して、薬物乱用防止啓発活動を実施します。

チ 食品の安全・安心の確保

食品営業施設の監視指導、食品等の収去検査、自主衛生管理の推進を3つの柱として、食品の安全・安心の確保推進に取り組めます。

特に全国的に多発するカンピロバクター、ノロウイルス及び寄生虫等を原因とした食中毒予防対策、食品等の検査による違反食品の排除、営業者が行うHACCP（Hazard Analysis and Critical Control Point：危害要因分析重要管理点）に沿った衛生管理について指導、助言を行い、自主管理の徹底を図ります。

(8) 各種計画・指針

ア 「神奈川県保健医療計画」(第8次)(令和6年3月改定)

- ・医療法第30条の4第1項の規定により策定する法定計画で、県の保健医療システムの目指すべき目標と基本的方向を明らかにするもの
- ・県民が、県の保健医療提供体制の実情を把握し、今後の施策の方向性について理解を深め、予防、治療や健康づくりに主体的に取り組むことを支援するもの

【計画期間】2024(令和6)年度～2029(令和11)年度の6年間

【基本理念と基本目標】

- ・基本理念：すべての県民が健やかに安心してくらす社会の実現に向けて、「誰でも等しく良質かつ適切な保健医療サービスを受けられる」ことを基本理念とする。
- ・基本目標：県民が身近なところで、質の高い医療を安心して受けられるよう、医療機関、介護事業者、行政、県民相互の連携の下で、切れ目のない保健医療福祉サービスを提供する体制を整備すること。

＜神奈川のめざすがた＞

誰もが元気で生き生きとくらしながら、必要なときに身近な地域で質の高い医療・介護を安心して受けられる神奈川

イ 「神奈川県地域医療構想」(平成28年10月策定)

- ・団塊の世代が75歳以上になる2025(令和7)年のあるべき医療提供体制の構築に向けた長期的な取組みの方向性を示すもの(「神奈川県保健医療計画」に位置付け)

【策定根拠】医療法第30条の4第2項第7号及び第8号

【計画期間】2018(平成30年)年度～2025(令和7)年度の7年間

【地域医療構想における3つの取組み】

- ・将来において不足する病床機能の確保及び連携体制の構築
- ・地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療の充実
- ・将来の医療提供体制を支える医療従事者の確保・養成

ウ 「かながわ健康プラン21(第3次)」(第1次：平成13年2月策定)

- ・県の総合計画である「新かながわランドデザイン(令和6年3月)」で示されている神奈川の将来像「いのち輝くマグネット神奈川」を実現するための個別計画
- ・健康増進法第8条の規定により、各都道府県が策定する、住民の健康増進の推進に関する施策についての基本的な計画(都道府県健康増進計画)

【基本的な目標】

- 「健康寿命の延伸」及び「健康格差の縮小」
- 個人の行動と健康状態の改善
- 社会環境の質の向上

○ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり

【計画期間】2024（令和6）年度～2035（令和17）年度の12年間

エ 「神奈川県保健医療救護計画」（令和2年10月策定）

- ・大規模な災害に備え、県民の生命と健康を守るための保健医療体制と活動内容を明らかにする

【基本的な考え方】

- ・県内各地で甚大な被害の発生が予想される広域的な地震等による災害だけでなく、局地災害にも対応することを想定した保健医療体制の確立
- ・「県災害医療コーディネーター」、「地域災害医療コーディネーター」及び「災害時小児周産期リエゾン」を活用した保健医療体制を構築し、発災時には、迅速かつ的確な保健医療活動を行う
- ・他の都道府県等からの応援を受け入れるための受援体制と、他都道府県への応援派遣体制の整備
- ・県保健福祉事務所は、地域の保健医療活動の拠点として、県保健医療調整本部と連携しながら、管内の保健医療活動の総合調整を行う

オ 「第4次神奈川県食育推進計画(食みらい かながわプラン2023)」(平成20年3月策定)

【基本理念】

- ・食育基本法に基づく「都道府県食育推進計画」とし、県の総合計画を補完する個別計画として位置付け、県の食育推進の方向性、目標等を定めるとともに、県が取り組むべき施策を明らかにする。
- ・生涯を通じた新進の健康を支える食育の推進、持続可能な職を支える食育の推進、「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進等の観点を踏まえ、本県の実情に合わせた食育をさらに推進していく。

【計画期間】2023（令和5）年度～2027（令和9）年度の5年間

カ 「神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進計画（第2次）」(令和6年3月策定)

【基本理念】

- ・「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けて、健康寿命の延伸や、歯及び口腔に関する健康格差の縮小を推進する観点から、すべての人にお口の未病改善のため「健口かながわ」を実践してもらえるよう、市町村、関係団体と連携・協力しながら進めていく

【計画期間】2024（令和6）年度～2035（令和17）年度の12年間

キ 「神奈川県医療費適正化計画」（平成20年4月策定）

【基本理念】

- ・保険者等と連携して県民の健康の保持の推進・生活の質の維持・向上に取り組むとともに、限りある社会資源を効果的・効率的に活用し、取組みが常に効果的なものとするよう努める

【計画期間】2024（令和6）年度～2029（令和11）年度の6年間

ク 「神奈川県がん対策推進計画」（平成17年3月策定）

【基本理念】

- ・「がんの未病改善」「がん医療の提供」「がんと共生」を3つの柱とする
- ・「誰一人取り残されないがん対策を推進し、県民一人ひとりが、がんについて正しく理解することで偏見をなくすとともに、がんと向き合い、支え合うことができる社会を構築し、全ての県民とがんの克服を目指す

【計画期間】2024（令和6）年度～2029（令和11）年度の6年間

ケ 「神奈川県肝炎対策推進計画」（平成25年3月策定）

【基本理念】

- ・「肝炎対策の推進に関する基本的指針」に則り、市町村、医療機関、関係団体等と連携しながら、県の総合的な肝炎対策の推進を図る

【計画期間】2023（令和5）年度～2027（令和9）年度の5年間

コ 「神奈川県アルコール健康障害対策推進計画」（平成30年3月策定）

【基本理念】

- ・アルコール健康障害の正しい理解とアルコール健康障害を有する者等への支援の充実を進め、県民が健康で安心して暮らすことのできる社会の実現を目指す

【計画期間】2023（令和5）年度～2027（令和9）年度の5年間

サ 「神奈川県循環器病対策推進計画」（令和4年3月策定）

【基本理念】

- ・「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」に基づく神奈川県の計画
- ・「循環器病の未病改善や正しい知識の普及啓発等」、「保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実」及び「循環器病の研究推進」を3つの施策に取り込むことにより、「健康寿命の延伸、循環器病の年齢調整死亡率の減少及びQOLの向上」を目指す

【計画期間】2024（令和6）年度～2029（令和11）年度の6年間

シ 「かながわ自殺対策計画」（平成17年3月策定）

【基本理念】

- ・自殺対策に関する状況や動向、自殺対策基本法や新たな大綱の趣旨を踏まえ、「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」をめざし、県の自殺対策を総合的かつ効果的に進めていく

【取り組むべき施策】

- ・子供・若者の自殺対策の更なる推進・強化
- ・女性に対する支援強化
- ・総合的な自殺対策のさらなる推進・強化

【計画期間】 2023（令和5）年度～2027（令和9）年度の4年間

ス 「第8期かながわ高齢者保健福祉計画（第9期）」（令和6年3月改定）

- ・介護保険制度や高齢者保健福祉施策を円滑に実施するために、将来の高齢者を取巻く状況を見据えた介護サービス量等の目標を設定し3年間で推進する。

【基本目標】「高齢者が安心して、元気に、いきいきと暮らせる社会づくり」の実現

- 「安心して暮らす」…医療や介護、予防などのサービスが一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築の推進
- 「元気に暮らす」…高齢者が、住み慣れた地域や家庭において、自立した生活ができるよう支援し、生活習慣病の予防などの健康づくりの推進
- 「いきいきと暮らす」…高齢者の経験、知識等をいかした就業や社会参画活動を通して、いきいきと暮らせるよう、生きがいくりの推進
- ・デジタル技術の進展によって社会が急激に変化し続けており、デジタルによる革新、デジタル・トランスフォーメーション（DX）を導入

【計画期間】 2024（令和6）年度～2026（令和8）年度の3年間（介護保険法の規定に基づく）

セ 神奈川県当事者目線の障害福祉推進条例 ～ともに生きる社会を目指して～ に基づく基本計画

【計画策定の経緯】 2016年10月「ともに生きる社会かながわ憲章」を策定

障害者を含むすべての県民と障害に携わる事業者、行政等が互いに連携し一体となりながら、誰もが安心していきいきと暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けた取り組みを進める。

【計画期間】 2024（令和6）年度～2029（令和11）年度の5年間

ソ 「神奈川県感染症予防計画」（平成11年10月策定、令和6年3月改訂）

【基本理念】

- ・事前対応型行政の構築
- ・県民一人ひとりに対する感染症の予防及び治療に重点を置いた対策
- ・人権の尊重
- ・健康危機管理の観点に立った迅速かつ的確な対応

第2章 管理・企画調整業務

管理・企画調整業務は、主として管理企画課管理担当において、財産管理、予算経理及び一般庶務を処理し、企画調整担当において衛生統計、医務、健康教育、人材養成等を行っている。また、所内業務を円滑に推進するため、各課業務の総合調整を行うほか、「かながわ健康プラン21」・「神奈川県保健医療計画」の推進、かながわ高齢者保健福祉計画等各種計画の推進及び市への支援等を通じて、管内における保健・医療・福祉の円滑な推進に努めている。

1 かながわ健康プラン21の推進等

神奈川県では、平成13年2月に「かながわ健康プラン21」を策定し、「かながわ健康づくり10か条」を提唱し、県民の健康づくりを推進している。

令和6年3月に第3次計画を策定し、全ての県民が未病を自分のこととして考え、かながわ未病改善宣言に基づき「食」「運動」「社会参加」の3つを柱とする未病改善に取り組んでもらえるよう、関係機関、市町村等と連携しながら、個人の特性や状況に応じた健康増進施策の展開や、未病改善を気軽に実践するための環境づくり等を推進します。

当所では、がん検診推進事業、地域・職域連携推進事業、栄養対策や歯科保健等の各種事業を活用して、かながわ健康プラン21の普及啓発に取り組んでいる。

2 各種協議会等

(1) 県央地区保健医療福祉推進会議（事務局は厚木保健福祉事務所）

神奈川県保健医療計画で定められた県央二次保健医療圏における保健、医療、福祉に関する計画の着実な推進など保健、医療、福祉に係る重要事項を審議することを目的として設置し、委員は、圏内の保健医療関係団体、行政機関等で構成されている。

ア 県央地区保健医療福祉推進会議

	開催年月日・会場	議 題 等
1	令和5年8月23日 オンライン開催	1 地域医療構想調整会議等の運営について 2 令和5年度病床整備事前協議について 3 公立病院経営強化プランの策定に係る地域医療構想との整合について 4 県保健医療計画の改定について 5 紹介受診重点医療機関について
2	令和5年10月11日 オンライン開催	1 地域医療構想の勧め方(2025プランの更新等)について 2 第8次保健医療計画素案たたき台について 3 第8次計画における基準病床数の検討について 4 医療と介護の一体的な体制整備について 5 地域医療支援病院における管理者の責務について
3	令和6年2月1日 オンライン開催	1 地域医療構想の進め方(2025プランの更新等)について 2 第8次保健医療計画素案について 3 第8次計画における基準病床数の検討について 4 紹介受診重点医療機関の公表について 5 国検討会における議論及び本県における令和6年度以降の議論の方向性案について

イ 県央地区保健医療福祉推進会議ワーキンググループ

	開催年月日・会場	議 題 等
1	令和5年5月29日 オンライン開催	1 県央地区における高度急性期機能に係る意見交換について

(2) 大和・綾瀬学校保健協議会

昭和40年の大和保健所設立と同時期に、学校と保健所が連携と協力を図ることによって地域、学校における児童・生徒の保健活動をより良く展開、推進していくことを目的として設置された。平成26年度からは組織再編により、「大和・綾瀬学校保健協議会」として実施している。

ア 事業実施状況

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和5年6月29日 大和センター講堂	講演:「デジタルデバイスから子どもたちの脳を守る～予防のための の約束ポイント～」 講師: (株)フェニックスプロジェクト代表取締役 臨床心理士・公認心理師 澤口ゆりあ	33名

イ 運営委員会

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和5年6月12日 大和センター講堂	第1回運営委員会 令和4年度大和・綾瀬学校保健協議会の実績報告 令和5年度大和・綾瀬学校保健協議会の事業計画の検討	14名
令和6年2月29日 大和センター講堂	第2回運営委員会 令和5年度大和・綾瀬学校保健協議会の実績報告 令和6年度大和・綾瀬学校保健協議会の取組みの方向性の検討	16名

(3) 保健福祉サービス連携調整会議（総括表）

管内における関係機関、団体等の連携により行われる各種保健福祉サービスの効果的かつ円滑な推進を図るため、次の委員会、協議会を開催した。

令和6年1月9日厚木保健福祉事務所大和センター保健福祉サービス連携調整会議を開催し、会議要綱を改定した。

委員会名等	開催回数	掲載ページ*	担当課
母子保健委員会	1回 部会1回	P. 31	保健福祉課
歯及び口腔の健康づくり推進委員会	1回 部会2回	P. 38	
地域食生活対策推進協議会	1回 部会1回	P. 46	
地域精神保健福祉連絡協議会	1回	P. 54	保健予防課
難病委員会	1回	P. 65	

*委員会、協議会の詳細については、各委員会等のページに掲載

(4) 地域包括ケア・在宅医療介護連携推進事業

管内地域における地域包括ケア体制推進のために、在宅医療に携わる方及び今後関わりたいと思っている方を対象に医療・介護連携の強化を目的とした研修会を開催する。

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和6年2月1日 大和センター講堂 オンライン併用	事例を通して考える 8050 問題 ～中高年層の引きこもり相談への支援～ 事例紹介 ① 経済的に自立ができない子どもへの介入 (大和市人生100年推進課) ② 高齢者虐待と精神疾患の疑いがある家族への対応 (綾瀬市地域包括ケア推進課) ③ 母の死亡により、新たな機関と連携を開始したケース (厚木保健福祉事務所大和センター保健予防課) 解説・助言 医療法人正史会大和病院 医師 清水茜	会場 24名 オンライン 22名 合計 46名

(5) 地域・職域連携推進事業（事務局は厚木保健福祉事務所）

県央二次保健医療圏における地域・職域連携体制を構築するため県央地区地域・職域連携推進協議会を設置し、地域保健と職域保健が連携し、健康課題に対する効果的な対策等を推進している。

ア 県央地区地域・職域連携推進協議会ワーキンググループ

開催年月日・会場	内 容	参加数
令和6年3月22日 オンライン開催	1 県央地区地域・職域連携協議会ワーキンググループ [※] の取組みについて (1) 協議会の取組みについて (2) 令和5年度の取組み状況について (3) 令和6年度に向けた取組みについて (4) 講評 2 講話 働く人のメンタルヘルスについて 北里大学 看護部生活支援看護学 助教 松岡昌子	22名

イ 県央地区地域・職域連携推進協議会

未実施

3 医務

(1) 医療施設

ア 医療施設等数と人口比（人口10万対率）

（令和6年3月31日現在）

医療施設等名	医療施設等数			人口10万人あたり		
	総数	大和市	綾瀬市	総数	大和市	綾瀬市
病 院	10	9	1	3.1	3.7	1.2
一般診療所	209	178	31	64.0	73.1	37.4
歯科診療所	167	141	26	51.1	57.9	31.3
助産所（出張専門）	9	6	3	2.8	2.5	3.6
あんま・はり・きゅう	217	183	34	66.4	75.1	41.0
柔道整復	122	104	18	37.4	42.7	21.7
歯科技工所	42	33	9	12.9	13.5	10.8

イ 医療施設数と人口比（人口10万対率）の年度推移

（各年度末現在）

医療施設名	H30		R1 (H31)		R2		R3		R4		R5	
	総数	人口10万人あたり	総数	人口10万人あたり	総数	人口10万人あたり	総数	人口10万人あたり	総数	人口10万人あたり	総数	人口10万人あたり
病 院	11	3.1	10	3.4	10	3.1	10	3.1	10	3.1	10	3.1
一般診療所	216	67.2	217	67.3	213	66.2	213	65.6	211	64.7	209	64.0
歯科診療所	170	53.1	167	53.5	169	52.5	170	52.4	169	51.8	164	51.1

※人口は「神奈川人口統計調査結果」（各年10月1日現在）

ウ 管内病床数と人口比（人口 10 万対率）

（令和 6 年 3 月 31 日現在）

医療施設（病床）名	管内病床数			人口 10 万人あたり		
	総 数	大和市	綾瀬市	総 数	大和市	綾瀬市
病院（一般病床）	1,329	1,221	108	406.9	501.2	130.2
病院（精神病床）	250	250	—	76.6	102.6	—
病院（療養病床）	196	136	60	60.0	55.8	72.3
病院（病床） 計	1,775	1,607	168	543.5	659.6	202.5
一般診療所病床	68	39	29	20.8	16.0	35.0
管内病床 総計	1,843	1,646	197	564.3	675.6	237.5

エ 管内病床数と人口比（人口 10 万対率）の年度推移

（各年度末現在）

医療施設 （病床） 名	H30		R1（H31）		R2		R3		R4		R5	
	総数	人口 10 万人 あたり	総数	人口 10 万人 あたり	総数	人口 10 万人 あたり	総数	人口 10 万人 あたり	総数	人口 10 万人 あたり	総数	人口 10 万人 あたり
病院 （一般病床）	1,329	415.2	1,329	411.5	1,329	413.0	1,329	409.6	1,329	407.7	1,329	406.9
病院 （精神病床）	250	78.1	250	77.4	250	77.7	250	77.0	250	76.7	250	76.6
病院 （療養病床）	191	59.7	196	60.7	196	60.9	196	60.4	196	60.1	196	60.0
小計	1,770	553.0	1,775	549.7	1,775	551.6	1,775	547.0	1,775	544.5	1,775	543.5
一般診療所 病床	93	29.1	93	28.8	93	28.9	93	28.7	68	20.9	68	20.8
総計	1,863	582.1	1,868	578.5	1,868	580.4	1,868	575.7	1,843	565.3	1,843	564.3

※人口は「神奈川人口統計調査結果」（各年 10 月 1 日現在）

（2）医療施設に係る許認可

		総数	病 院	一 般 診療所	歯 科 診療所	X線等 装置*	助産 所	あん摩・ 鍼・灸	柔道 整復	歯 科 技工所	巡回健 診等
許 可 申 請	開 設	20	0	15	5	/	/	/	/	/	/
	使 用	7	7	0	0	/	/	/	/	/	/
	変 更	19	10	6	3	/	/	/	/	/	/
届 出	開 設	206	0	20	14	56	2	9	8	1	96
	変 更	176	5	39	25	22	0	40	40	5	/
	休廃止	122	0	24	19	65	0	7	6	1	/
総数		550	22	104	66	143	2	56	54	7	96

* X線等装置はエックス線装置及び MRI 装置の設置・廃止・変更届

(3) 免許事務取扱い件数

	総 数	医 師	歯 科 医 師	薬 劑 師	保 健 師	助 産 師	看 護 師	准 看 護 師	管 理 栄 養 士	栄 養 士	診 療 放 射 線 技 師	臨 床 検 査 技 師	衛 生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	視 能 訓 練 士	受 胎 調 節 実 地 指 導 員
登録申請	251	5	2	23	8	2	67	5	14	21	5	9	**	17	11	4	
籍訂正	206	1	3	16	8	2	66	2	19	17	6	7		12	10	2	
再交付	20	1					5	3	3	1	1			3			
その他*																	
総数	477	7	5	39	16	4	138	10	36	39	12	16		32	21	6	

*その他：登録抹消など **衛生検査技師免許は新規登録終了

(4) 医療従事者数

(令和4年12月31日現在※)

	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師
総数	477	176	682	101	77	1,840	232
大和市	420	151	606	76	62	1,571	176
綾瀬市	57	25	76	25	15	269	56

※ 医師数等の調査は、隔年で実施されている。

出典) 医師・歯科医師・薬剤師数は、厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

保健師・助産師・看護師・准看護師数は、神奈川県「業務従事者届集計結果」

4 病院等立入検査

医療施設の適切な運営を確保するため、医療法（昭和23年法律第205号）第25条に基づいて、管内の10病院及び5診療所について立入検査を実施した。

	実 施 数	指 導 結 果
病 院	10 病院	なし
診 療 所	5 診療所 ・有床診療所（2所） ・人工透析診療所（3所）	文書指摘 1 診療所 文書指導 2 診療所

5 献血推進事業

(1) 令和5年度献血実施状況

		大和市	綾瀬市	総数	
献血者数 (単位：人)	200ml	目標数(人)	89	33	122
		献血数(人)	138	60	198
		達成率	155.1%	181.8%	162.3%
	400ml	目標数(人)	3,413	1,222	4,546
		献血数(人)	3,286	1,191	4,459
		達成率	96.3%	97.5%	98.1%
	計	目標数(人)	3,324	1,255	4,668
		献血数(人)	3,406	1,251	4,657
		達成率	102.5%	99.7%	99.8%
献血量(全血) (ℓ)		目標量(ℓ)	1,347.4	495.4	1,842.8
		献血量(ℓ)	1,334.8	488.4	1,823.2
		達成率	99.1%	98.6%	99.0%

(2) 献血実施状況の推移

ア 管内(大和市+綾瀬市)の献血実施状況の推移

		平成30年度	平成31年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
献血者数	200ml	目標数(人)	90	115	108	79	73	122
		献血数(人)	103	129	140	159	231	198
		達成率	87.4%	112.2%	129.6%	201.3%	316.4%	162.3%
	400ml	目標数(人)	3,948	4,025	4,264	5,025	4,648	4,546
		献血数(人)	3,673	4,180	4,556	4,578	4,522	4,459
		達成率	93.0%	103.9%	106.8%	91.1%	97.3%	98.1%
	計	目標数(人)	4,038	4,140	4,372	5,104	4,721	4,668
		献血数(人)	3,776	4,309	4,696	4,754	4,753	4,657
		達成率	93.5%	104.1%	107.4%	93.1%	100.7%	99.8%
献血量(全血)		目標量(ℓ)	1,597	1,633	1,727.2	2025.8	1,873.8	1,842.8
		献血量(ℓ)	1,489.8	1,697.8	1,850.4	1863.0	1,855.0	1,823.2
		達成率	93.3%	104.0%	107.1%	91.9%	99.0%	99.0%

イ 大和市の献血実施状況の推移

		平成30年度	平成31年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
献血者数 (単位：人)	200ml	74	94	113	121	179	138
	400ml	2,864	3,525	3,535	3,191	3,295	3,286
	計	2,938	3,619	3,648	3,312	3,474	3,424
献血量(全血) (ℓ)		1,160.4	1,428.8	1,436.6	1,300.6	1,353.8	1,342.0

ウ 綾瀬市の献血実施状況の推移

		平成30年度	平成31年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
献血者数 (単位：人)	200ml	29	35	27	38	52	60
	400ml	809	655	1,021	1,387	1,227	1,191
	計	838	690	1,048	1,442	1,279	1,251
献血量(全血) (ℓ)		329.4	269.0	413.8	562.4	501.2	488.4

6 神奈川県保健衛生表彰

(1) 知事表彰

ア 個人の部

区 分	受賞者名	勤務先等	職 種 等
医療関係功労	中西 努 半田 秀穂 水野 邦浩 三宅 洋	つるまエキチカじんクリニック はんだ矯正歯科医院 (株)アイディシー 大和病院	医師 歯科医師 歯科技工士 事務員
環境衛生関係功労	本間 信夫	ヘアサロン・ホンマ	理容師

イ 施設の部

施設名	所在地	業 種
理容バンビ	大和市	理容所

※表彰式は11月17日に県庁本庁舎大会議場にて実施。

(2) 厚木保健福祉事務所長表彰

ア 保健衛生功労

(ア) 個人の部

区 分	受賞者名	勤務先等	職 種 等
医療関係功労	毛利 浩子 伊藤 薫 板阪 清明 渡邊 幸一 森田 哲史 馬場 香織 仁田 晴美 平井 武	林間クリニック あやせ訪問クリニック いたさか歯科医院 桜ヶ丘東口駅前薬局 大和病院 大和市立病院 座間市役所 平井治療院	医師 医師 歯科医師 薬剤師 スポーツ指導員 地方公務員(理学療法士) 歯科衛生士 あん摩・マッサージ・指圧・ 鍼灸師
環境衛生関係功労	松崎 智彦 原 丈治 大橋 早苗	つきみ野松崎動物病院 理容 原 ビューティーサロン早苗	獣医師 理容師 美容師
食品衛生関係功労	西田 武代	スナック・ルパン	飲食店営業
地域公衆衛生活動 関係功労	佐久間 文子 羽渕 公美	－ 大和市役所	食生活改善推進員 管理栄養士

(イ) 施設の部

施設名	所在地	業 種
ウェルカオリ 大和店	大和市	美容所
株式会社エフ・イ・イ横浜事業所	大和市	飲食店営業

イ 献血推進功労

団体名	所在地
一般社団法人大和青色申告会青年部	大和市

※表彰式は11月17日に当所講堂にて実施。

7 人材養成

(1) 学生実習

ア 合同オリエンテーション

(ア) 前期 (保健師・看護師・管理栄養士、歯科衛生士対象) 令和5年4月21日(金)[※]9校 41名

後期 (看護師・管理栄養士対象) 令和5年9月8日(金)[※]4校 24名

※オンライン開催

イ 合同セミナー (看護師学生対象)

(ア) 前期 令和5年4月20日(木) 2校 20名

(イ) 後期 令和5年9月7日(木) 2校 19名

ウ 学生実習状況

	学 校 名 等	グループ	人数	所管	
保 健 師	慶應義塾大学	1	2	管理企画課	
	東海大学	1	2		
	北里大学	1	2		
	小 計	3	6		
看 護 師	横浜市病院協会看護専門学校	1	10		
	県立保健福祉大学	1	6		
	湘南平塚看護専門学校	1	11		
	湘南医療大学看護学科	1	10		
	厚木看護専門学校	1	4		
	小 計	5	41		
管理栄養士	関東学院大学	1	3		保健福祉課
	相模女子大学	1	3		
	神奈川県立保健福祉大学	1	3		
	鎌倉女子大学	1	3		
	神奈川工科大学	1	3		
	小 計	5	15		
歯科衛生士	新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校	2	5		
総 数		14	67		

8 保健師業務

専門的支援が必要な慢性疾患児、難病、感染症、精神障害者等を中心に事業担当者からの事例紹介や事業説明、コロナウイルス感染症対策の実際を家庭訪問や面接、電話での保健指導を行った。

(1) 家庭訪問

感染症	結核	精神障害	心身障害						生活習慣病		難病	小児特定疾患				その他の疾病	未熟児		妊産婦	その他	総数
			1歳未満	6歳以下	18歳以下	39歳以下	40歳以上	39歳以下	40歳以上	1歳未満		6歳未満	18歳未満	18歳以上	1歳未満		1歳以上				
総数	13	98	12							56		13	14	6						212	

家庭訪問（再掲）

社会復帰	精神障害		特定疾患					介護保険		児童虐待	小児アレルギー疾患			高齢者虐待
	老人性認知症	アルコール	膠原病	血液系	循環器	神経系	消化器	専門調査	苦情等調査		喘息	アトピー性皮膚炎	その他アレルギーの疑い	
総数	12		1				55							

(2) 所内指導

	感染症	結核	精神障害	老人性認知症	心身障害	障害児	生活習慣病	難病	小児特定	その他疾病	妊婦	産婦	未熟児	乳児	幼児	思春期	エイズ	女性の健康	その他	総数
面接	84	49	1	7			2	3069	169						1		2			3884
電話	820	305		84		2		840	173	2			2		3	7	4	3	1	2246
文書	99	146				1		28	2								1			277
総数	1003	500	1	91		3	2	3937	344	2			2		4	7	7	3	1	5907

(3) 家庭訪問以外の保健活動実施状況

	健康相談	集団検診	健康教育	デイケア	地区組織活動	総数
開設回数	70		13		3	86
指導延人員	242		491		10	743

(4) 地域保健師業務連絡会議

県及び市の保健師が行う対人保健業務等について住民への行政効果の一層の向上を図るために、保健師活動の連絡調整、意見交換等を行った。

ア 保健師配置状況

(令和5年4月1日現在)

大和市		綾瀬市		保健福祉事務所	総数
保健福祉主管課	その他	保健福祉主管課	その他		
50	2	16	1	13	82

※育休・産休・療休は除く 課長・総括副主幹含む

イ 厚木保健福祉事務所大和センター管内地域保健師業務連絡会議

開催年月日	内 容	出席数
令和5年5月31日 オンライン開催	<p>議題</p> <p>(1) 地域保健師業務連絡会議と管内保健師研究会 令和5年度計画報告</p> <p>(1) 地域保健師業務連絡会議と管内保健師研究会 令和4年度報告</p> <p>(2) 管内の保健師活動の取組みについて</p> <p>(3) 保健師の人材確保・人材育成について</p> <p>(4) 令和5年度看護学生等実習計画について</p> <p>(5) 地域保健師研究発表会について</p>	17

ウ 研究会

(ア) 厚木保健福祉事務所大和センター管内保健師研究会

開催年月日	内 容	講師等	参加数
令和5年 10月23日	<p>令和5年度新任期保健師対象研修(厚木合同)</p> <p>(1) 講義「ケースの課題を共有し、気づきに変えよう」</p> <p>(2) 事例検討・情報交換</p>	<p>厚木市健康づくり課 副主幹 芦塚裕美氏 元平塚保健福祉事務所 保健福祉部長 彦根倫子</p>	20
令和5年 11月27日	<p>令和5年度新任期保健師対象研修</p> <p>(1) 講義「健康危機の保健活動をとおして、今皆さんへ伝えたいこと～大和市新型コロナウイルスワクチン接種事業における保健活動の実際～」</p> <p>(2) グループワーク・情報交換</p>	<p>大和市健康福祉部 新型コロナウイルスワクチン接種担当主査 萩原雅実</p>	13
令和5年 6月26日	<p>令和5年度 中堅期保健師研修 【第1回目】</p> <p>(1) 講義「プリセプター保健師の役割および経験学習」</p> <p>(2) グループワーク</p>	<p>国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 教授 嶋津 恵子 東海大学医学部看護学科 准教授 吉野純子 海老名市健康推進課 副主幹兼保健師 齋田瑠美</p>	27
令和5年 12月4日	<p>令和5年度 中堅期保健師研修 【第2回目】</p> <p>(1) 講義「経験学習を深める人材育成面接」 「『共に成長する』ために必要なこと～プリセプターを経験し学んだこと～」 「プリセプターを担うことによる学び～経験学習と変容的学習～」 「プリセプターを担ったことによる学びの振り返り」</p> <p>(2) グループワーク</p>	<p>国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 教授 嶋津多恵子 東海大学医学部看護学科 准教授 吉野純子 聖路加国際大学 教授 麻原きよみ 座間市健康医療課 保健師 尾花幸美</p>	23

開催年月日	内 容	講師等	参加数
令和5年 11月8日	令和5年度保健師リーダー連絡会 (1)講義（話題提供） ア「リーダー保健師としての役割や心構え」 イ「統括保健師・統括保健師を支える保健師に求められること」 (2)グループワーク 「各市町村の統括保健師、リーダー保健師の現状について」	県立保健福祉大学教授 教授 臺有桂 綾瀬市 参事兼課長 今井美智代	21
令和5年 12月21日	令和5年度全階層研修 (1)講義「災害時の初動と、受援の体制づくり」 (2)グループワークと助言	国立大学法人千葉大学 大学院看護学研究院 教授 宮崎砂子	20

9 各種調査実施状況

	実施時期	地区・対象	調査内容
国民生活基礎調査 (基幹統計「国民生活基礎統計」を作成するための調査)	令和5年 6月	大和市4地区 綾瀬市1地区	世帯との続柄、性、生年月日、配偶者の有無、医療保険加入状況、傷病の状況、公的年金・恩給の需給状況等、世帯票・所得票
医療施設静態調査（3年周期）	令和5年 10月	管内全ての医療機関	開設者、許可病床数、診療科目、従業者数、看護体制、救急医療体制、医療安全体制、在宅医療サービスの実施状況、検査・手術等の実施状況等
患者調査（3年周期）	令和5年 10月	9病院 3診療所 1歯科診療所	性別、出生年月日、患者の住所、入院・外来の種別、受療の状況、診療費等支払方法、紹介の状況等、入院票・退院票・外来票
社会保障・人口問題基本調査（人口移動調査）	令和5年 7月	無作為抽出の世帯主・世帯員	世帯・世帯員の属性、居住歴、新型コロナウイルス感染症拡大による引っ越しへの影響等

<その他定期的衛生統計>

- ・人口動態調査(月報)
- ・医療施設動態調査(月報)
- ・病院報告患者票(月報)
- ・地域保健・健康増進事業報告(年度報)
- ・衛生行政報告例(年度報、隔年報)

10 健康危機管理対策の推進

(1) 災害時活動マニュアルの整備

災害時活動マニュアルについて、要援護者対応マニュアルの改定等を踏まえ、令和6年3月に改定を行った。

(2) 地域災害医療対策会議

平時には災害時医療救護に関する活動及び訓練のあり方等の検討を行い、災害発生時には県央二次保健医療圏における保健医療活動の本部機能を担うもので、地域災害医療コーディネーター、医療関係者、行政関係者等で構成されている。

開催年月日	議 題 等	場 所	出席者
令和6年 3月25日	・能登半島地震関係について ・各機関の取組について	オンライン開催	39

(3) SCU 設営の整備と訓練

大規模地震時医療活動訓練の一環として、県保健医療救護計画で厚木航空基地に位置付けられたSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の設営体制を整備するための要員職員の確保、研修等及び緊急参集訓練時の倉庫備品の確認などについて、医療危機対策本部室に協力して実施する。

開催年月日	内容	場 所	出席者
——	——	——	——

(4) 新型インフルエンザ等地域医療体制対策会議

管内の関係機関と地域における感染症に関する情報を共有し、連携して感染症のまん延防止と迅速かつ適切な対応を行い、地域全体の感染症対策の推進を図ることを目的とする。

開催年月日	議 題 等	場 所	出席者
令和5年 12月5日	所管域における新型インフルエンザ感染症等への各団体の対応状況について	オンライン開催	24

第3章 保健福祉業務

保健福祉業務は主として、地域住民の健康増進及び保健福祉の向上をめざし、慢性疾患児等の専門的な母子保健業務、歯科保健業務、栄養・食生活対策推進業務及び小児医療援護、母子・父子・寡婦福祉資金の貸付、健康づくり、がん対策を行っている。

1 母子保健

(1) 母子保健委員会

委員会は、厚木保健福祉事務所大和センター及び大和市、綾瀬市が実施する母子保健事業が円滑かつ効果的に行われるために、各種の母子保健事業の課題の検討や実績等の分析評価を行うことにより、管内の母子保健施策の向上を図ることを目的とする。

ア 母子保健委員会

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和6年2月15日 大和センター	1 厚木保健福祉事務所大和センター保健福祉サービス連携調整 会議母子保健委員会実施要領の改正について 2 令和6年度母子保健事業の計画について 3 医療的ケア児の在宅療養生活における地域課題について	15

イ 母子保健委員会部会

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和5年11月10日 厚木合同庁舎	医療的ケア児等の在宅療養支援 (厚木保健福祉事務所及びかながわ医療的ケア児支援センター県央 圏域ランチ会議と合同開催)	25

ウ 情報交換会（厚木保健福祉事務所と合同開催）

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和5年5月19日 厚木合同庁舎	第1回ランチコア会議 [*]	11
令和5年7月10日 厚木合同庁舎	第2回ランチコア会議	14
令和5年8月21日 大和市・綾瀬市	管内各市へのヒアリング	6
令和5年9月4日 厚木合同庁舎	第3回ランチコア会議	12
令和5年9月11日 オンライン	第4回ランチコア会議	10
令和5年10月23日 オンライン	第5回ランチコア会議	10
令和5年12月5日 オンライン	第6回ランチコア会議	13
令和6年2月19日 オンライン	第7回ランチコア会議	13

※令和5年度より母子保健委員会部会の下部組織として、ランチコア会議を設けた。

(2) 管内母子保健事業連絡会

大和市・綾瀬市・管内児童相談所の保健師が、地域の母子保健事業を円滑かつ効果的に行い、管内の母子保健施策の向上を図ることを目的に行った。

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和5年5月29日 大和センター	1 子育て世代包括支援センターにおける取組について 2 こども家庭センターの設置について 3 母子保健事業について	6

令和3・4年度未実施

(3) 妊娠・出産支援体制づくり事業

安心して妊娠・出産ができる環境を地域全体で推進するための体制づくりの一環として、関係機関職員を対象とした連絡会の開催と支援の質の向上を図ることを目的とした事例検討会を開催した。

ア 妊娠・出産支援体制づくり連絡会

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和5年5月29日 大和センター	1 産科医療機関の状況について 2 行政機関の新規事業について 3 児童相談所からの情報提供 4 妊娠SOSかながわについて 5 新型コロナウイルス感染症関連について 6 情報交換	15

令和3・4年度未実施

イ 事例検討会 (再掲(5)妊娠期からの虐待予防支援事業)

開催年月日・会場	対 象	内 容	講 師	参加数
令和6年 2月29日 大和センター	管内母子保健及び 要保護児童対策地 域協議会担当保健 師 児童相談所子ども 支援課保健師等	精神疾患を抱える妊産婦・ 親への支援のための事例 検討「メンタル面での課題 を抱えている妊産婦・親へ の支援～事例検討から学 ぶ」	相州病院 医師 寺岡菜穂子	9

(4) 性と健康の相談センター事業に関すること

(旧 生涯を通じた女性の保健相談等事業)

男女や年齢を問わず、その健康状態に応じ的確に自己管理を行うことができるよう健康相談及び健康教育を実施した。

ア 健康相談

(ア) 一般相談 (旧 生涯を通じた女性の保健相談) (随時相談) 令和5年4月～令和6年3月

	相談方法 (実)		相談者 (延)			相談内容 (延)										事後指導 (実)			
	電	面	本	父	そ	妊	避	不		メン	婦	更	性	泌	そ	助	受	そ	
	話	接	人	母	の	娠	妊	妊	性	タル	人	年	感	尿	他	言	診	他	
					他	娠	妊	妊		ケア	科	期	染	器			奨		
総数	5	4	1	4	0	0	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	5	0	0
男	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
女	5	4	1	4	0	0	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	5	0	0

(イ) 思春期相談 (随時相談)

令和5年4月～令和6年3月

	相談方法 (実)		相談者 (延)			相談内容 (延)									事後指導 (実)		
	電	面	本	父	そ	身		妊	病	友	家	学	そ	助	受	そ	
	話	接	人	母	の	体	性	娠	気	人	族	校	他	言	診	他	
					他			娠							奨		
総数	6	6	0	4	2	0	0	5	0	1	0	0	0	0	5	1	0
男	6	6	0	4	2	0	0	5	0	1	0	0	0	0	5	1	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

イ 健康教育

(ア) 思春期セミナー

小・中・高校の教職員等を対象として、大和・綾瀬学校保健協議会との共催で講演会を実施した。

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和5年12月22日 大和センター	思春期世代のネットやゲーム依存～私たちができる対応方法について～	独立行政法人 国立病院機構久里浜医療センター インターネット治療部門 臨床心理士・公認心理士 北湯口 孝	24

(イ) 思春期セミナー講師派遣事業

思春期の生徒に対して講師を派遣し、望まない妊娠の予防等を目的とした講演を実施した。

開催年月日	会 場	講 師	参加数
令和6年2月22日	綾瀬市立城山中学校	林間クリニック 医師 南渕芳	207
令和6年2月26日	綾瀬市立綾北中学校	林間クリニック 医師 南渕芳	197

(ウ) 性と健康の健康教育

男女問わず、性と妊娠に関する正しい知識の普及を図るため、健康教育を実施した。

開催年月日・会場	対象	内 容	参加数
令和5年4月21日 オンライン	保健所実習生	大切なあなたのからだ	44
令和5年9月8日 オンライン	保健所実習生	大切なあなたのからだ	24

(5) 望まない妊娠等に関する相談事業（妊娠SOSかながわ）

望まない妊娠に対する相談について、媒体の配布等、普及啓発を行った。

ア 妊娠SOSかながわ普及啓発

普及啓発先	内 容	実績
管内中学校、施設等	ポスター、カードを配布	ポスター 32 カード 2,310

(6) 妊娠期からの児童虐待予防支援事業

児童虐待予防の体制整備のため、妊娠期養育支援連絡票の活用状況の確認と、医療機関との連絡会、県次世代育成課と共催で関係機関向けに研修会を開催した。

ア 妊娠期養育支援連絡票（令和4年度）

	大和市	綾瀬市	合計
妊娠期養育支援連絡票	254	119	230

イ 医療機関との連絡会

医療機関と行政が効果的に連携を図るために、今年度は、精神疾患を有する妊婦の産科入院対応が可能である北里大学病院と連絡会を開催した。

開催年月日・会場	議 題	出席数
令和5年10月18日 大和センター	1 北里大学病院の現状・体制について 2 市町村の母子保健事業について 3 児童相談所の相談件数について 4 今後の連携支援に向けた課題～病院・地域へ要望等 5 その他の情報交換	16

ウ 研修会

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和5年11月21日 大和センター	乳幼児揺さぶられ症候群（SBS） 予防プログラム医療機関等出張 講座（次世代育成課と共催）	認定NPO法人チャイルドフ ァーストジャパン理事長・ 医師 山田不二子	21
令和5年12月27日 美和レディースクリニック	乳幼児揺さぶられ症候群（SBS） 予防プログラム医療機関等出張 講座（次世代育成課と共催）	認定NPO法人チャイルドフ ァーストジャパン理事長・ 医師 山田不二子	11
令和5年9月7日 綾瀬市保健福祉プラザ	乳幼児揺さぶられ症候群予防	職員	19
令和5年12月7日 大和センター	精神科医療の介入が必要となる 妊産婦とは～精神科産科併設医 療機関の視点から (厚木保健福祉事務所と共催)	北里大学 医学部 精神科学 主任教授 稲田健	30

エ 事例検討会（再掲(3)妊娠・出産体制づくり事業）

令和6年2月29日 大和センター	精神疾患を抱える妊産婦・親への 支援のための事例検討「メンタル 面での課題を抱えている妊産婦・ 親への支援～事例検討から学ぶ」	相州病院 医師 寺岡菜穂子	9
---------------------	--	------------------	---

（7）養育支援事業

発達や発育等の障害や疾病を持ち、長期に療養を必要とする児及びその保護者等が地域で健康的な生活をするために、医療・福祉・教育等の関係機関と連携し、支援を行った。

ア 訪問指導

	小児慢性 特定疾病 対象児	長期療養児	合計
実数	11	1	12
延数	32	1	33

イ 集団指導

(ア) 疾病・障害児等の家族会

開催年月日	教室名	内 容	講師等	参加者	
				保護者	支援者
令和5年 7月7日 オンライン	医療的ケア児の 家族交流会	・らいおんハートから だの児童デイサービ ス大和の紹介 ・情報交換	らいおんハートからだの 児童デイサービス大和 看護師 岩崎温子	4	3
令和5年 10月16日 オンライン併用 ※	医療的ケア児の 家族交流会	・NPO 法人はるの紹 介 ・情報交換	NPO 法人はる 理事長 新田文恵	3	3
令和6年 1月22日 オンライン	医療的ケア児の 家族交流会	・情報交換	—————	3	4

※保護者計3名（対面2名、オンライン1名）、支援者計3名（対面3名）

ウ 療育体制の整備

開催年月日・ 会場	名 称	内容	講師	参加数
令和5年 11月10日 厚木合同庁舎	医療的ケア児等 の在宅療養支援 研修会	保育園での医療的ケ ア児～顔の見える関 係の第一歩	訪問看護ステーション もみじ 所長(医療的ケ ア児等コーディネータ ー) 今堀亜紀	24

(厚木保健福祉事務所及びかながわ医療的ケア児支援センター県央圏域相談センターとの合同開催)

2 健康づくり・がん対策

(1) がん検診普及啓発セミナー事業

「神奈川県がん対策推進計画」を踏まえ、管内のがん検診受診率の向上を目指し、市町村、関係団体等と協働し、地域のニーズに応じた「がん検診普及セミナー」を実施した。

また、学生や窓口来所者等に、がん検診普及啓発リーフレットを配布し、がん検診受診の必要性について周知した。

がん検診普及啓発リーフレットの窓口配架や相談来所者等への配布 合計 172 部

(2) 地域企業におけるがん検診受診促進事業

がん検診受診率の向上を目指し、介護保険指定事業者等指導や特定給食施設指導事業等の開催に併せ、がん検診受診促進リーフレット並びに近郊市町村のがん検診受検内容や窓口についてのチラシを配布し、従業員やその家族の受診促進を図った。

リーフレット配布 20 施設 644 部

(3) 健康増進事業の自己評価及び糖尿病重症化予防事業市町村支援

市健康増進事業及び糖尿病重症化予防事業について、評価表に基づき前年度の実施状況を確認した。

ア 健康増進事業の自己評価に係るヒアリング

開催年月日	内 容	出席者
令和5年7月14日	令和5年度健康増進事業の自己評価に係るヒアリングを実施	大和市・綾瀬市 保健師、管理栄養士 当センター 保健師

イ 糖尿病重症化予防事業に係るヒアリング

開催年月日	内 容	出席者
令和5年11月15日	令和5年度の実施結果及び事業評価、今後の取組について	大和市・綾瀬市 事業担当者 当センター事業担当者

(4) 国保保健事業市町村支援

市のデータヘルス計画及び市の高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について支援した。県高齢福祉課主催「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施における通いの場への伴走支援」に同席した。

(5) 健康づくりのためのデータ活用事業

保健医療データなどを活用し、県と市が連携して地域課題の分析や評価を行うことで、市が行う健康づくり事業について、より効果的な事業展開になるよう支援するとともに、未病改善、健康づくり施策のさらなる推進をはかるため「地区別研修」及び市町村支援を実施した。

ア 地区別研修

開催年月日	内 容	講 師	参加数
令和6年2月2日	健診・保健指導にナッジを応用するヒント	帝京大学大学院 教授 福田吉治 帝京大学看護学科 非常勤講師 杉本九実	19

イ 市町村支援

綾瀬市の健康増進計画の運動に関する取組の実施方法及び評価の見直しについて、個別に支援を行った。

3 歯科保健

(1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

神奈川県歯及び口腔の健康づくり推進条例に基づき、厚木保健福祉事務所大和センター管内の歯及び口腔の健康づくりにかかる事項について、関係者が協議、意見交換することにより、管内における歯及び口腔の健康づくりに関する事業の効果的かつ円滑な推進を図る。

ア 歯及び口腔の健康づくり推進委員会

開催年月日 会場	内 容	出席数
令和6年 1月25日 大和センター	1 議題 (1) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会設置要領の改定について (2) 令和6年度歯及び口腔の健康づくり推進委員会の取組について 2 報告 (1) 令和5年度歯及び口腔の健康づくり推進委員会の取組について (2) 神奈川県域市町村別3歳児歯科健診結果(平成30年～令和4年度)	11

イ 歯及び口腔の健康づくり推進委員会小委員会

開催年月日 会場	内 容	出席数
令和5年 6月30日 大和センター	1 報告 (1) 令和4年度歯及び口腔の健康づくり推進委員会の取組について 2 議題 (1) 令和5年度歯及び口腔の健康づくり推進委員会の取組について ア 普及啓発リーフレットについて (ア) 「フッ素入り歯みがき粉を使ってむし歯予防・むし歯の原因と予防」のリーフレット (イ) 「歯周病は万病のもと・歯のみがき方」のリーフレット (2) 歯科に関する確認事項と助言・対応について	6
令和5年 11月30日 大和センター	1 報告 (1) 令和5年度歯及び口腔の健康づくり推進委員会の取組について 2 議題 (1) 令和5年度生活困窮家庭(生活保護世帯)幼児等のむし歯予防の取組、評価のためのアンケートの実施について (2) 令和6年度歯及び口腔の健康づくり推進委員会の取組について (3) 歯及び口腔の健康づくり推進委員会取組スケジュールの改定について	6

(2) 重度う蝕ハイリスク幼児予防対策事業(継続歯科検診)

重度う蝕児の減少を図ることを目的に、市の幼児歯科健診事業等と連携をとり、重度う蝕につながるリスク要因を保有している幼児を対象に、継続的な歯科検診、保健指導及び予防処置を行った。

歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数	受診者数			予防処置者数（延）			
	初診数	再診数	総数	フッ化物	フッ化ジアンミン銀	総数	
75	103	294	397	369	3歯まで 10	4歯以上 15	394

初診の状況

把握事業名	初診者数	紹介事由										受診結果					
		う蝕の状況				生活習慣等から見たリスク要因（複数計上）						う蝕の精検結果			対処分類		
		う 歯 あ り	う 歯 注 意 病 変	う 歯 な し	不 明	離 乳 完 了 の 遅 れ	リ ス ク 食 品 頻 回 摂 取	リ ス ク 飲 料 頻 回 摂 取	口 含 み 就 寝 等 の 習 慣	そ の 他	う 歯 あ り	う 歯 注 意 病 変	う 歯 な し	非 ハ イ リ ス ク 児	リ ス ク 解 消 児	ハ イ リ ス ク 児	
大和市	1歳6か月 児歯科健診	56	3	9	44	0	33	18	29	0	6	7	5	44	0	0	56
	2歳児 歯科相談	9	0	1	8	0	3	4	7	1	2	2	0	7	0	0	9
	その他	2	0	0	1	1	1	2	2	0	0	0	1	1	0	0	2
綾瀬市	1歳6か月 児歯科健診	15	0	2	13	0	10	5	11	0	2	4	1	10	0	0	15
	2歳児 歯科健診	15	0	1	14	0	2	9	9	0	4	1	4	10	0	0	15
保健福祉事務所 把握		6	0	0	0	6	0	2	3	0	2	1	0	5	0	0	6
総数		103	3	13	80	7	49	40	61	1	16	15	11	77	0	0	103

(3) 障害児者等歯科保健事業

ア すこやか療育歯科相談

発達の遅れや慢性疾患・障がいがある乳幼児を対象に、検診、保健指導、予防処置の実施及び管理栄養士、保健師と連携して食べ方相談を行った。

歯科検診・予防処置等の実施状況

開設回数	受診者数		予防処置者数（延）			
	実人員	延人員	フッ化物	フッ化ジアンミン銀		総数
38	27	87	50	3歯まで	4歯以上	53
				2	1	

実施内容内訳（延件数）

歯科検診	歯科保健指導	摂食相談	栄養士相談	保健師相談
78	78	37	15	7

イ 摂食機能発達支援研修（食べる機能の講習会）

摂食機能の発達支援の理解を深め、関係機関との連携強化をはかることを目的に、保育所職員等を対象に「食べる機能の講習会」開催した。

開催年月日 会場	内 容	講 師	参加数
令和5年 12月8日 大和センター	乳幼児の口腔機能発達とその支援	昭和大学歯学部口腔衛生学講座 講師 内海明美	32

（４）在宅療養者等訪問口腔ケア推進事業

在宅で療養する障害児等の訪問による歯科検診、食べ方相談等を行った。

実施回数	訪問数（延数）
10	13

（５）歯周病予防対策事業

歯周病予防に効果的な歯間部清掃用具の正しい使用方法等について実技指導を行った。

実施回数	人 数
2	20

（６）歯科保健普及啓発事業

全身の健康の視点に立った口腔の健康づくりの一環として、健口かながわ5か条の普及を行った。

普及対象	母 子	学童・生徒	成 人	高齢者	不明	総数
普及人数	189	0	5	105	451	751

（７）オーラルフレイル健口推進員養成事業

オーラルフレイル健口推進員（*1）の養成を動画視聴研修で行うとともに、自主的な活動を円滑に実施できるよう、育成研修を行った。

*1 オーラルフレイル予防、8020 運動をはじめとする歯及び口腔の健康づくりを推進するため、口腔機能向上等の普及啓発活動等、歯及び口腔の健康づくりを自主的に実施する者

ア 養成研修（動画視聴研修）

実施年月日 会場	参加者 延べ人数	参加者内訳（実人数）					
		オーラルフレイル健口推進員					その他
		健康普及員	食生活改善 推進員	介護予防 サポーター	その他	小計	
令和5年 11月10日 大和センター	19	13	6			19	

イ 育成研修

実施回数	参加者 延べ人数	参加者内訳（実人数）					
		オーラルフレイル健口推進員					その他
		健康普及員	食生活改善 推進員	介護予防 サポーター	その他	小計	
4	79	13	10	10	5	38	1

実施年月日 会場	内 容	参加数
令和5年 8月25日 大和センター	1 「大和市のフレイル予防」 講師 大和市保健師 2 「歯と口の健康について（オーラルフレイル）」 講師 当所歯科医師 3 口腔機能の再確認と健口体操の実習 講師 当所歯科衛生士	19
令和5年 10月4日 大和センター	1 「栄養からみたフレイル予防」 講師 大和市管理栄養士 2 「歯と口の健康について（口腔の健康）」 講師 当所歯科医師 3 お口の機能チェックと健口体操の実習 講師 当所歯科衛生士	18
令和5年 11月29日 大和センター	1 受講修了書の授与 2 「健口体操の意義と効果」 講師 当所歯科医師 3 健口体操の実習 講師 当所歯科衛生士 4 先輩オーラルフレイル健口推進員の実演披露 5 媒体作成（舌体操）	14
令和6年 2月28日 大和センター	1 「お口の健口体操を体感しよう」 講師 健康運動指導士 原眞奈美 2 グループワーク（お口の健口体操普及活動について～原先生に アドバイスをもらおう～）	28

ウ 支援体制の整備（活動支援）

回 数	内 容	人 数
2	実施方法等助言	2

(8) フッ化物洗口普及啓発事業

永久歯が萌出する幼児のう蝕予防対策として効果的なフッ化物洗口を普及させるため、関係機関と連携し、家庭内フッ化物洗口の情報普及を図った。

開催年月日	対 象	参加数
令和5年11月12日	歯科医師会イベント参加者	64

(9) 災害時歯科口腔保健対応対策事業

災害時の地域歯科口腔保健に係る体制づくりを促進するため、厚木保健福祉事務所と合同で研修会を開催した。

開催年月日	内 容・講 師	参加数
令和6年 3月21日 オンライン 開催	1 「災害時の県央地域の被災想定と県の災害対策」 講師 県央地域県政総合センター総務部県民・防災課 職員 2 「災害時の歯科対策の基本的な考え方と全国での取組事例」 講師 東北大学大学院市学研究科 世界展開力強化事業推進室 中久木康一 3 「災害時の行政、歯科医師会の役割」 講師 東京都多摩立川保健所 歯科保健担当課長 柳澤智仁	43

(10) 人材育成

歯科保健に係わる医療、保健、福祉の関係者や地区活動を実践している団体等を対象に、研修や講習会等を実施した。

ア 地域歯科衛生士会

開催年月日 会場	内 容・講 師	参加数
令和5年6月29日 大和センター	発達障害児と歯科 講師 当所歯科医師・歯科衛生士	16
令和5年10月26日 大和センター	乳幼児のう蝕予防の考え方 講師 当所歯科医師・歯科衛生士	13

イ 歯科衛生士学校実習生

実施日数	人 数
2	5

ウ 綾瀬市職員研修

生活困窮家庭児の歯及び口腔の健康づくりを推進するため、綾瀬市福祉総務課ケースワーカーを対象に研修を行った。

開催年月日 会場	内 容	参加数
令和5年10月27日 綾瀬市役所	歯と口腔の健康	5

エ その他

実施年月日	内 容	人 数
令和5年6月14日	県新規採用歯科医師歯科保健行政実務研修	1
令和5年5月17日	管理栄養士学生実習生	3

(11) 健康教育

ア 大和綾瀬地域児童相談所にて児童・生徒等を対象に歯科健康教育を実施した。

開催年月日	内 容	参加数
令和5年5月30日	1 むし歯予防の講話 2 模型を用いた歯みがき指導	32
令和5年10月5日	1 むし歯予防の講話 2 模型を用いた歯みがき指導	37
令和6年2月29日	1 むし歯予防等の講話 2 歯みがき、歯間清掃指導・実習	43
計 3回		112

(12) その他歯科検診・歯科相談等

関係機関からの依頼、電話や来所による歯科検診、相談等を実施した。

実施回数	実施数
11	15

4 栄養・食生活

(1) 特定給食施設等指導

ア 特定給食等指導事業

健康増進法等に基づき、給食施設に対して栄養管理の実施について必要な助言、指導を行うとともに、給食利用者及び従業員の健康の保持・増進及び生活習慣病予防の推進、健康・栄養教育等の支援を行い、給食を通じた地域の健康づくりを推進した。

(ア) 給食施設個別指導

給食施設に対し、健康増進法第18条第1項第2号に基づき個別に指導、助言を行った。

			管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもある施設		栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士 どちらもない施設	
			施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数	施設数	指導件数
指 定 施 設 ①	学 校	01	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	02	1	1	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	05	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	06	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	07	0	0	0	0	0	0	0	0
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	1	1	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		2	2	0	0	0	0	0	0
1回300 食以上 又は1 日750 食以上 (指定 施設① を除く) ②	学 校	01	5	5	6	6	2	1	0	0
	病 院	02	1	1	0	0	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	0	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	05	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会福祉施設	06	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	07	0	0	0	0	1	1	2	2
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		6	6	6	6	3	2	2	2
1回100 食以上 又は1 日250 食以上 (①、 ②を除く) ③	学 校	01	0	0	0	0	0	0	2	0
	病 院	02	0	0	6	6	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	3	0	2	1	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0
	老人福祉施設	04	5	2	7	1	0	0	0	0
	児童福祉施設	05	2	1	2	2	15	13	2	2
	社会福祉施設	06	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業所	07	0	0	0	0	3	2	16	6
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		10	3	17	10	18	15	20	8
そ の 他 の 給	学 校	01	0	0	0	0	0	0	0	0
	病 院	02	1	1	1	1	0	0	0	0
	介護老人保健施設	03	0	0	1	1	0	0	0	0
	介護医療院	20	0	0	0	0	0	0	0	0

食 施 設	老人福祉施設	04	2	1	1	0	0	0	2	0
	児童福祉施設	05	12	2	6	2	27	8	7	2
	社会福祉施設	06	2	0	2	0	1	0	5	0
	事業所	07	2	1	0	0	2	1	8	3
	寄 宿 舎	08	0	0	0	0	0	0	0	0
	矯正施設	09	0	0	0	0	0	0	0	0
	自衛隊	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般給食センター	11	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	12	2	0	0	0	6	2	14	2
	計		21	5	11	4	36	11	36	7

(イ) 給食施設講習会・種別講習会

給食施設の従事者及び管理者等に対し、講習会を実施し栄養管理の向上を図った。

種別	開催年月日 会場	内 容	講 師	参 加 施設数	参 加 者 数
全体 講習 会	令和6年 2月14日～3月5日 オンライン開催	目標栄養量の設定 と献立作成	神奈川県立保健福祉大学 栄養学科 准教授 駿藤晶子	54	97
種別 講習 会	令和5年10月12日 大和センター	栄養情報提供書（お 食事連絡票と栄養 サマリー）の活用	みどり野リハビリテーション病院 管理栄養士 特別養護老人ホームひまわりの郷 管理栄養士 有山由紀子	16	17
	令和5年 11月6日～11月30日 オンライン開催	食を通じた安全対 策と生活習慣病予 防	独立行政法人労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター 産業保健専門職 西尾泉 産業保健相談員 平澤芳恵	4	12
	令和5年12月8日 大和センター	乳幼児の口腔機能 発達とその支援	昭和大学歯学部 口腔衛生学講座 講師 内海明美	20	25
総 数				94	151

イ 栄養改善普及運動（スマイルスリー）

全事業所を対象にかながわ健康プラン21（第2次）の推進を目指し、「そろえて食べてスマイルスリー」～主食・主菜・副菜をそろえた食事～を合言葉に給食を通じた健康づくりを行った。

開催年月日 会場	内 容	対象施設数	参加施設数
R5年8～10月 (ポピュレーション) 管内各事業所	統一標語 「そろえて食べてスマイルスリー」 ～主食・主菜・副菜をそろえた食事～ 取り組み内容 ＜ポピュレーションアプローチ事業所＞ ・健康づくりに関するポスターの周知	事業所 35施設 海上自衛隊 1施設	ポピュレーション 36施設
R5年9月20日 (ハイリスク) 管内対象事業所	＜ハイリスクアプローチ事業所＞ ・望ましい野菜および塩分の摂取量につ いて（ブース展示等）。		ハイリスク 1施設

※対象施設の内1施設はハイリスク・ポピュレーションアプローチのいずれも実施

(2) 地域食生活対策推進協議会

「かながわ健康プラン 21（第3次）」及び「第4次神奈川県食育推進計画（食みらい かながわプラン 2023）」の栄養・食生活対策の目標達成に向けて、医療機関、学校、福祉施設、食生活改善関係団体、民間企業等関係機関等が連携し、地域の特性や実情に応じた栄養・食生活改善活動の方策を企画・実施し、さらに評価について検討する。

ア 地域食生活対策推進協議会

【協議会】

開催年月日 会場	内 容	出席数
令和6年2月22日 大和センター	1 実施要領の改正について 2 令和6年度計画について 3 令和5年度事業報告	12

【作業部会】

開催年月日 会場	内 容	出席数
令和5年8月7日 12月14日 大和センター	1 令和5年度事業計画及び報告について 2 お食事連絡票の周知について 3 介護支援専門員との連携について	10 6

(3) 市町村支援

ア 管内行政等栄養士連絡会

栄養改善業務を円滑かつ効率的に実施するために連絡調整会議を行った。

開催年月日 会場	回数	内 容	出席数
令和6年3月15日 大和センター	1	1 管理栄養士課程臨地実習について 2 食生活改善推進団体連絡協議会の支援について等	8

イ 地域保健活動推進研修事業

食育及び栄養・食生活対策を推進する市町村及び関係機関・団体等の栄養士等を対象に研修を実施した。

開催年月日 会場	内 容	講 師	参加数
令和5年12月8日 大和センター	乳幼児の口腔機能発達とその支援	昭和大学歯学部 講師 内海明美	7

※給食施設種別講習会と同時開催とした

(4) 人材育成

ア 地域活動栄養士等指導事業

地域で活動する栄養士の指導・活動支援及び県内管理栄養士養成課程の学生の指導を行った。

(ア) 地域活動栄養士指導・活動支援

区 分	開催回数	参加延人数
在宅栄養士研修	2	5
栄養士みつわ会支援	6	46

(イ) 管理栄養士課程実習生指導

養成施設名	コース数	学生人数	期 間
県立保健福祉大学	1	3	令和5年5月15日～5月19日
鎌倉女子大学	1	3	令和5年6月5日～6月9日
神奈川工科大学	1	3	令和5年9月4日～9月8日
関東学院大学	1	3	令和6年2月5日～2月9日
相模女子大学	1	3	令和6年2月26日～3月1日

イ 食生活改善推進員リーダーの育成

食生活改善推進団体「なごみ会」等が組織的に活動を展開できるように、リーダーの育成指導を行うとともに、資質向上のための研修会への支援を行った。

指導回数	延人数
22	275

(5) 専門的栄養指導・食生活支援事業

ア 専門的栄養相談

疾病を有する患者に対して、病状や生活状況に応じた個別相談を行った。

	難病	ハイリスク児	その他	計
相談件数	1	1	8	10

イ 食生活支援担当者研修会

地域で食生活支援に係わる医療や福祉、職域等の関係者を対象に研修を行った。

開催年月日	内 容	講 師	参加数
令和5年 10月20日 オンライン併用	地域の要介護者の食生活をサポート ～要介護者の栄養管理のためにケアマネジャーと管理栄養士の連携を進める～	桜が丘中央病院 栄養科長 森谷 玲子 南大和クリニック居宅介護支援事業所 介護支援専門員 堀優子 あやせ介護支援専門員協会 会長 佐藤明	対面 9 オンライン15 合計24

(6) 栄養表示等普及啓発及び活用推進事業

食品製造業者に対し、適正な栄養表示方法を指導するとともに、消費者に健康保持・増進及び生活習慣病予防を目的として、栄養表示の活用について普及・啓発を行った。

ア 消費者に対する普及啓発講習会

対象	回数	人数	内容
消費者	2	27	食生活改善推進員養成講座で講話

イ 個別相談・指導（事業者に対する表示適正化指導）

		健康増進法			食品表示法			総数
		特別用途食品	特定保健用食品	虚偽誇大表示	栄養成分表示	栄養機能食品	機能性表示食品	
事前相談・指導	件数				1			1
	延回数				1			1
適正化指導 (改善指導)	件数				2			2
	延回数				3			3

(7) 情報の収集・整理分析及び提供

ア 国民健康・栄養調査

対象地区	実施時期	対象世帯数 (人数)	調査内容	実施世帯数 (人数)
大和市大和東 深見 下鶴間	令和5年 11月	19世帯(40人) 13世帯(30人) 20世帯(30人)	栄養摂取状況調査 身体状況調査 生活習慣調査	9世帯(20人) 2世帯(5人) 2世帯(4人)

* 県民健康・栄養調査も併せて実施

5 小児医療援護

対象となる疾病にかかっており、厚生労働大臣が定める疾病の程度である18歳未満の児童等に対し、医療費の一部を助成した。(18歳到達時点で認定されており、引き続き治療が必要と認められる場合は、20歳未満まで継続可能)

ア 小児慢性特定疾病医療費助成(16疾患群、788疾病)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	悪性 新生 物	慢性 腎 疾 患	慢性 呼 吸 器 疾 患	慢性 心 疾 患	内 分 泌 疾 患	膠 原 病	糖 尿 病	先 天 性 代 謝 異 常	血 液 疾 患	免 疫 疾 患	神 経 ・ 筋 疾 患	慢 性 消 化 器 疾 患	を 伴 う 症 候 群 染 色 体 又 は 遺 伝 子 に 変 化	皮 膚 疾 患 群	骨 系 統 疾 患	脈 管 系 疾 患	総 数
大和市	28	8	2	30	21	7	10	6	9	2	23	21	3	2	3	1	176
綾瀬市	16	2	2	14	4	6	3	3	3	1	8	8	0	1	0	0	71
総数	44	10	4	44	25	13	13	9	12	3	31	29	3	3	3	1	247

(重複あり)

6 母子・父子・寡婦福祉資金

(1) 貸付事業

母子・父子・寡婦家庭の生活安定と経済的自立の促進、児童の健全な育成を図るために必要な母子・父子・寡婦福祉資金の貸付の決定を行った。(R6.3月末現在)

		事業 開始	事業 継続	技能 習得	就職 支度	住宅	転宅	医療 介護	生活	修学	就学 支度	修業	結婚	総数
大和 市	母子								1	1	4			6
	父子													
	寡婦													
綾瀬 市	母子			3					1	4	6	1		15
	父子										2			2
	寡婦													

7 介護保険

(1) 介護保険指定事業者等指導

介護保険制度の円滑な推進を図るために、管内に事業所を有する介護保険事業所のうち施設及び居宅サービスの医療系サービスが含まれる事業所に対して、厚木保健福祉事務所の実施指導に当所の専門職（保健師・栄養士）が同行し、指導を実施した。

区 分		大和市		綾瀬市		合計	
		介護	予防	介護	予防	介護	予防
居 宅 サ ー ビ ス	訪問介護	1	/		/	1	/
	訪問看護	2	2			2	2
	通所介護	2	/		/	2	/
	通所リハビリテーション	1	1			1	1
	短期入所生活介護	2	2			2	2
	短期入所療養介護	1	1			1	1
	特定施設入居者生活介護	1	1	1	1	2	2
	計	10	7	1	1	11	8
介 護 保 険 施 設	介護老人福祉施設	2	/		/		/
	介護老人保健施設	1	/		/		/
	計	3	/		/		/
合 計		13	7	1	1	11	8

*担当分の事業所を計上。

第4章 保健予防業務

保健予防業務は、地域住民の健康を守り、また、増進を図るため、感染症・結核等の予防対策、エイズの相談検査、精神保健福祉、認知症高齢者対策、難病の相談事業等を行っている。

1 精神保健福祉

地域におけるこころの健康の保持増進及び精神疾患の早期発見、早期治療や病気の再発防止に努めるとともに、精神保健福祉の関係団体との連携を図り、家族会、事業所、断酒会などの活動について支援した。また、管内市町村とともに自殺対策事業を実施した。

(1) 精神保健福祉相談事業

心の健康や精神疾患に関する相談等について、本人や家族、関係者からの相談に応じ、必要な援助を行った。

ア 把握区分

区 分	人 員		相談・訪問数(延)	
	実人員	延 人 員	新規	年度再
相談	392	2,11	303	1,809
訪問	60	191	7	184

イ 相談性別・年齢

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0 ～9	10 ～19	20 ～29	30 ～39	40 ～49	50 ～59	60 ～69	70 ～79	80～	不明
実人員	180	197	15	0	29	33	44	61	68	29	39	25	64
延人員	977	1,119	16	0	103	117	443	551	419	169	186	49	75

ウ 訪問性別・年齢

区 分	性 別			年 齢									
	男	女	不明	0 ～9	10 ～19	20 ～29	30 ～39	40 ～49	50 ～59	60 ～69	70 ～79	80～	不明
実人員	27	33	0	0	5	5	12	12	9	7	9	1	0
延人員	90	101	0	0	7	9	27	53	39	15	40	1	0

エ 担当者（複数対応のため延人員より多くなる）

区 分	総 数	医 師	福祉職	保健師	その他職員
相談	2,157	37	2,100	16	4
訪問	196	5	190	0	1

オ 相談・訪問契機

区 分	実人員	本 人	家 族	医療機関	市 町 村	その他
相談	392	86	109	24	60	113
訪問	60	10	4	22		14

カ 相談種別

区分	延人員	治療の問題	生活の問題	社会参加の問題	心の健康問題	その他
相談	2,112	1,149	604	23	256	80
訪問	191	114	43	0	27	7

キ 診断名

	実人数	器質性精神障害	アルコールによる障害	覚せい剤等他の薬物	統合失調症	気分障害	ストレス関連障害	生理的障害等	成人の人格・行動障害	精神遅滞	心理的発達の障害	小児期・青年期の障害	てんかん	診断保留	精神障害と認めず	未受診	不明
相談	392	6	9	3	65	39	17	0	8	11	15	1	0	0	8	109	101
訪問	60	3	0	0	37	7	1	0	4	3	5	0	0	0	0	8	2

ク 相談者

	延人員	本人	家族	医療機関	市町村	その他
相談	2,180	339	483	407	461	490
訪問	429	140	73	65	71	80

(2) 組織育成活動

地域の精神保健福祉活動が円滑に進むよう関係団体との連携を図った。

精神保健福祉関係機関・団体

団体		回数	援助内容
ア 精神障害者家族会	あがむの会（綾瀬市）	0	
	大和さくら会（大和市）	1	定期総会
イ 断酒会	大和つくし断酒会	1	研修会
	矢崎断酒の会	1	
ウ NPO 法人「綾瀬あがむの会」		7	ネットワーク会議、役員会
エ 当事者会		2	交流会、定例会

(3) 普及啓発活動

集団指導活動

開催年月日・会場	名称	内容	参加者
——	家族教室	実施せず	—

(4) 精神保健福祉業務

ア 医療保護事務（進達件数）

	件数	計
医療保護入院届	170	451
医療保護入院退院届	172	
定期病状報告（内措置数）	109（0）	

イ 精神科病院実地指導・実地審査

(ア) 実地指導

精神保健福祉法に基づき、管内の精神科病院に人権に配慮した適切な入院処遇などの指導を行った。

施設数	実施件数	実施日
1	1	令和6年3月6日（定期）

(イ) 実地審査

精神保健福祉法に基づき、管内精神科病院および管内の住民が入院する精神科病院の入院患者の入院形態の審査を行った。

施設数	審査患者数	審査結果								
		措置入院			医療保護入院				任意入院	
		要措置	措置不要	継続	継続	移行	入院不要	継続	移行	入院不要
(定期) 1	6			1	5					
(新規) 0	0									

ウ 精神保健診察

精神保健福祉法に基づく精神保健診察の申請、通報に対し、精神保健福祉センター兼務職員として調査等を行った。（夜間・休日対応を除く）

	受理件数	調査件数	精神保健診察結果				
			要措置	不要措置			
				入院	入院外	不実施	取り下げ
法23条	16	16	13	1	0	2	0

(5) 精神障害にも対応した包括ケアシステム構築推進

精神障害者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進を目指し、地域精神保健福祉連絡協議会及び実務担当者会議、ケース会議等を開催し、関係機関・団体との連携を図った。

ア 地域精神保健福祉連絡協議会

精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進に係る課題の検討、情報共有を行った。

開催年月日・会場	内 容	構成員	出席数
令和6年2月6日 大和センター	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進に関し、「医療との連携」をテーマに協議	管内精神科病院、地域援助事業者 当事者・家族関係団体、学識経験者、行政職員、社会福祉協議会	25

イ その他の会議

開催年月日・会場	会議名	内 容	出席数
令和5年5月24日 大和センター	実務担当者会議	管内2市及び精神科病院との連絡会 関係機関役割分担、連携確認	11
令和5年6月14日 大和センター	第1回ケース会議	精神保健福祉事例検討	12
令和5年10月11日 大和センター	第2回ケース会議	精神保健福祉事例検討	14
令和6年1月17日 大和センター	第3回ケース会議	精神保健福祉事例検討	12

ウ ピアサポート活用に係るワーキンググループ

厚木保健福祉事務所が実施するワーキンググループへの協力。

開催年月日	内 容	出席数
令和5年11月8日	ピアサポート活動の調査に用いるインタビューガイドについて	9
令和5年12月12日	ピアサポート活動の調査に用いるインタビューガイドについて	6
令和6年2月20日	ピアサポーターへのインタビュー実施	3
令和6年3月11日	ピアサポーターへのインタビュー実施	3

エ 措置入院者等退院後支援

ガイドラインに基づいて、措置入院者等に支援計画作成に関する同意を得た上で退院後支援を行った。(計画作成の同意がない場合も法第47条に基づく支援を行った)

措置入院者数	計画作成同意	計画作成	支援実施数
30	14	5	13

※支援実施数には前年度からの継続ケースを含む

オ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム関係者等に対する研修への企画協力

(主催：神奈川県障害福祉課、運営：公益社団法人かながわ福祉サービス振興会)

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和5年11月10日 オンライン	「ひきこもりの支援を社会モデルの視点で考える」	白梅学園教授 長谷川俊雄	98

(6) 地域自殺対策事業

地域の自殺の特性について分析し課題を検討するとともに、自殺未遂者の支援困難ケースについて対応を検討し、支援関係機関との連携を図った。また、普及啓発活動等を行った。

ア 会議等

開催年月日・会場	会 議 名	対 象	助言者	出席数
令和5年10月11日 大和センター	自殺未遂者 支援検討会	地域援助事業者、行政職員	林間メンタルク リニック院長 河野貴子	14
令和6年2月6日 大和センター	自殺対策検 討会	管内精神科病院、地域援助事業者、 当事者・家族関係団体、学識経験 者、行政職員、社会福祉協議会	大和病院副院長 荒川文雄	25

イ 普及啓発

取組年月日	内 容
令和5年9月1日～9月30日	自殺予防週間、自殺予防月間に合わせた関連ポスターの掲示 自死遺族の会案内リーフレット等を配架
令和6年3月1日～3月31日	

ウ ゲートキーパー養成研修

開催年月日	内 容	対 象	参加数	備考
令和5年 8月30日	ゲートキーパー養成研修	保健師実習生	4	
令和5年12月19日	大和市ゲートキーパー養成講座	大和市民	17	大和市主催
令和6年 1月31日	大和市ゲートキーパー養成講座	大和市民	15	大和市主催
令和5年12月15日	綾瀬市新採用職員フォロー研修	新採用職員	36	綾瀬市主催

エ 自殺未遂者支援研修会

開催年月日・会場	内 容	講 師	参加数
令和5年11月20日 大和センター	こころといのちをまもる対策推進 事業研修会「ゲートキーパー精神で 心温かい街をみんなでつくろう」	NPO 法人ゲートキーパー和楽 代表理事 小泉早苗 湘南精神保健福祉士事務所 所長 長見英知	14

(7) その他

ア 医療観察法に基づく支援

内 容	対象者	回数
医療観察法対象者ケア会議等	3	13

イ 企画調整会議

精神保健福祉関連業務の計画等について、精神保健福祉センターとの調整、企画を実施した。

開催年月日	内 容	出席数
令和6年3月18日	精神保健福祉関連事業の実施状況等	5

2 認知症対策

ねたきり・認知症予防対策を効果的に推進するため、相談、訪問等を関係機関相互に連携し、行った。「認知症等行方不明SOSネットワークシステム」は関係機関の理解と協力を得ながら各市の支援に努めた。

(1) 認知症疾患相談事業

専門的相談を行い、認知症疾患に対する知識と理解を深め適切な医療と療養生活ができるよう支援した。

ア 相談内容

	相（延 談件 数）	相談内容（延数）							
		疾病 一般	問 題 行 動	治 療 関 係	看 護 介 護	入 院 入 所	介 護 保 険	そ の 他	総 （延 べ 数）
専門医の定例相談	7	0	3	2	0	0	0	2	7
保健師等の随時相談	103	22	44	41	8	15	7	59	196
総 数	110	22	47	43	8	15	7	61	203

イ 相談の対象と方法

	相談件数 （計）	相談の対象		相談の方法			
		新規相談	継続相談	電話	面接	訪問	文書等
定例相談	7	7	0	0	1	7	0
随時相談	103	20	83	84	7	12	0
総数	110	27	83	84	8	18	0

(2) 訪問指導事業

	訪問数						年齢別					
	男		女		総数		50～	60～	70～	80～	90～	総数
	実数	延数	実数	延数	実数	延数						
件数	0	0	5	12	5	12	0	1	2	2	0	5

(3) 専門職派遣事業

ア 支援者対象研修会

開催年月日・会場	内 容	講 師	出席数
令和5年8月24日 大和センター	「認知症行動心理症状（BPSD）とケア ～家族支援の視点から～」	聖徳大学 北村 世都	57
令和5年10月12日 横浜森永乳業株式会社	「認知症の予防と共生 ～若年性認知症って知っていますか～」	たなかクリニック 田中 千彦	39

イ 認知症初期集中支援チーム会議、事例検討

開催年月日	出席数	開催年月日	出席数
令和5年5月1日	6	令和5年10月20日	5
令和5年6月22日	4	令和6年1月19日	5
令和5年8月17日	6	令和6年2月28日	7
令和5年9月28日	4		

(4) 管内認知症担当者連絡調整会議

開催年月日・会場	内 容	対 象	出席数
令和6年2月29日 大和センター	認知症対策事業及び若年性認知症支援、 認知症等行方不明SOSネットワーク について	管内地域包括支援セン ター、警察署、医療機 関、行政職員	27

3 感染症予防対策

感染症の発生状況を的確に把握・分析し、情報提供することにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下、「感染法」という）に基づき行われる国の「感染症発生動向調査」の円滑な推進に取り組んだ。

また、感染症が発生した場合には、感染症患者、病原体保有者及びその接触者を対象に疫学調査を実施し、感染症のまん延の防止に努めた。

(1) 感染症発生動向調査

ア 1・2類感染症（結核は除く）

発生なし

イ 3・4・5類感染症

類型	感染症名称	件数
3類	腸管出血性大腸菌感染症	9
4類	E型肝炎	2
	レジオネラ症	1
5類	アメーバ赤痢	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4
	水痘（入院例）	2
	梅毒	15
	破傷風	1
百日咳	1	

ウ 新型インフルエンザ等感染症

類型	感染症名称	件数
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	881

※ 対象期間は令和5年4月1日から5類感染症に変更になった同年5月8日まで

(2) インフルエンザ施設別発生状況調査

本調査は、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校において休校、学年閉鎖、学級閉鎖があった場合に、その施設数を計上するとともに、当該措置を取る直前の学校、学年、学級における在籍者数、患者数、欠席者数を計上したものである。

	令和5年9月4日～令和6年3月31日報告分					
	施設数	学年閉鎖 学校数	学級閉鎖 学校数	在籍者数	患者数	うち欠席者数
保育所	0	0	0	0	0	0
幼稚園	2	0	2	52	9	9
小学校	343	4	339	10,479	1,746	1,636
中学校	75	6	69	3,616	545	518
高校	17	1	16	610	165	155
計	437	11	426	14,757	2,465	2,318

(3) 感染症診査協議会

感染症法で施行する就業制限や入院勧告は人権を尊重する観点から必要最小限に行われるべきもので、その実施には慎重な判断が求められるため、同法第24条では保健所に感染症の診査に関して学問的、専門的及び法律的な観点から協議する第三者機関の設置が義務付けられている。

令和5年度は腸管出血性大腸菌感染症（3類感染症）に係る就業制限8件を行い、厚木保健福祉事務所感染症診査協議会へこれらを諮問した。（結核、新型コロナウイルス感染症を除く）

(4) 新型インフルエンザ等地域医療体制会議・感染症対策会議

感染症対策について、関係機関と連携したまん延防止と迅速かつ適切な対応に向けた情報の共有や地域医療体制及び患者支援体制の整備を行うため会議を実施した。

開催年月日	内 容	対 象	出席数
令和5年 12月5日 オンライン	1 報告 (1)管内の感染症発生状況 (2)最近の感染症の動向 (3)感染症対策に係る県の取組みについて 2 議題 (1)各団体等での取組状況・意見交換	管内医師会・歯科医師会・薬剤師会・管内病院・管内市町村担当課・消防本部・警察署・県関係機関	15名

(5) 蚊の生息調査

デング熱やジカウイルス感染症などの蚊媒介感染症対策の一環として実施した。

調査期間	調査場所	方 法	結 果
令和5年6月～ 10月 月1回	引地台公園	トラップ(二酸化炭素による誘引)にて蚊を捕獲	ウイルスを保有する蚊の発見なし

(6) 感染症予防教育

感染症予防講演会

開催年月日	内 容	講 師	出席数
令和5年 12月15日	1 集団発生しやすい感染症の理解、標準予防策、発生時対応について 2 吐物処理、手指消毒の実際について	感染症管理認定看護師、感染制御実践看護師、職員	介護保険施設、障害者入所施設等の職員 19施設 25名

(7) 患者発生に伴う指導・相談

ア 感染症相談

	計	新型コロナウイルス感染症	腸管出血性大腸菌感染症	麻疹	インフルエンザ	感染性胃腸炎	その他
相 談	1,002	654	94	16	109	43	86
訪問指導	13	1	6	1	0	2	3

イ 患者（疑い例含む）及び接触者調査等積極的疫学調査実施状況

類型	感染症名	実件数	調査等実施延べ件数	
			行政検査(患者分再掲)	その他
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	109	0	0
3類	腸管出血性大腸菌感染症	9	39 (27)	0
4類	レジオネラ症	2	2 (2)	0
	E型肝炎	2	2 (2)	0
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2 (2)	0
	麻疹	8	8 (8)	0
	風疹	1	1 (1)	0

ウ 施設等での感染症集団発生時の指導

施設等で患者(疑いを含む)が発生し拡大傾向の場合に、集団発生として保健所へ施設長から報告があったものに対し、状況を確認し感染防止策の指導を行った。

感染症名	指導方法	施設計	高齢者施設	医療機関	保育園	幼稚園 学校	障害者施設
新型コロナ ウイルス感染症	電話	173	123	11	0	0	39
	実地指導(再掲)	0					
インフルエンザ	電話	25	1	1	23		
	実地指導(再掲)	0					
感染性胃腸炎	電話	6	6				
	実地指導(再掲)	2	2				
その他の感染症	電話	2			2		
	実地指導(再掲)	0					

4 エイズ（性感染症）予防

エイズの正しい知識の普及・啓発を図るため、講演会を実施した。また、無料・匿名のエイズ検査、梅毒検査を原則火曜日に開催した。

(1) エイズ相談・検査（含む梅毒検査）

エイズ予防のため健康相談と血液検査を実施した。

ア エイズ相談・検査実施状況

HIV 抗原抗体同時検査（第4世代通常検査）を実施した。

年度	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	平成31年 /令和元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
相談	830	803	463	343	305	194	184	161	156	282	122
検査	* 186	* 193	* 136	*110	* 107	* 98	86	82	80	138	90

* 臨時検査を含む。

イ エイズ検査（性・年齢別）実施状況

実施回数 38回

	総 数	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
男	67	0	14	18	13	11	11
女	23	1	8	6	7	0	1

ウ 梅毒検査実施状況

実施回数 38回

年度	平成 30年	平成 31年 /令和元年	令和 2年	令和 3年	令和 4年	令和 5年
検査	97	85	82	80	134	85

（２）エイズ予防普及事業

青少年エイズ・性感染症予防講演

実施年月日	実施校名（学年）	講 師	参加数
令和 5年 10月 16日	神奈川県立綾瀬高等学校（1年生）	大和センター 保健予防課 医師 浅松達也	326
令和 5年 12月 21日	大和商業高等専修学校（1年生）	林間クリニック産婦人科 医師 南渕芳	82

5 結核予防

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく健康診断及び患者指導を実施し、結核予防に努めた。

(1) 結核患者発生に伴う健康診断

ア 接触者健康診断・管理検診

患者が感染させた疑いがある接触者に健診を実施し、感染者の発症予防と発症者や感染源の早期発見に努めた。結核治療終了後必要な患者に検診を実施し、再発の早期発見に努めた。

区分	対象数 (実数)	受診者(延数)		受診結果(実数)		
		当所	医療機関*	要医療	経過観察	異常なし
接触者健康診断	148	140	10	21	0	127
管理検診	0		1	0	0	0

区分	直接撮影 (医療機関)	ツベルクリン反応検査		IGRA検査		喀痰検査
		当所	医療機関*	当所 (QFT)	医療機関* (QFT・T-spot)	
接触者健康診断	0	0	5 (延 5)	138 (延 140)	10 (延 10)	0
管理検診	0					

*受診券を発行し委託医療機関に受診した数

イ 外国籍県民結核健康診断事業

開催年月日	内容	出席数
——	実施なし	—

(2) 結核患者発生に伴う患者指導

ア 服薬支援事業

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延防止と、多剤耐性結核の発生を予防するために、DOTS(Directly Observed Therapy 直接服薬確認療法)を実施した。

訪問DOTS 延件数	所内面接DOTS 延件数	電話DOTS 延件数	合計DOTS 件数
93 件	49 件	451 件	593 件

イ DOTSカンファレンス

結核治療が必要な患者に対し、服薬終了まで支援するために、各地区担当保健師で支援方法等について検討した。

実施回数	対象延件数
12 回	211 件

ウ 定期病状調査

結核終了後の経過観察者の適切な患者管理のために、医療機関へ定期病状調査を実施した。

調査件数
6 件

(3) 結核患者の登録・管理

ア 登録患者数

(ア) 年末現在登録患者数（受療状況別）

	総 数	活 動 性 結 核				不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	*潜 在 性 結 核 感 染 症 (別 掲)
		肺結核活動性			肺 外 結 核 活 動 性			
		登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性・ その他				
令和4年	56	8	4	2	4	12	26	18
令和5年総数	59	7	6	1	1	10	34	18
受療別 (総数)	入 院 中	6	5	1				
	外 来 治 療 中	10	1	5	1		3	8
	治 療 な し	40	1	1		10	28	9
	不 明	3					3	1
受療別 (大和市)	入 院 中	5	4	1				
	外 来 治 療 中	8	1	3	1		3	7
	治 療 な し	26	1			5	20	9
	不 明	2					2	1
受療別 (綾瀬市)	入 院 中	1	1					
	外 来 治 療 中	2		2				1
	治 療 な し	14		1		5	8	
	不 明	1					1	

*潜在性結核感染症について：「結核医療の基準について（平成21年1月23日健感発第0123005号）」により潜在性結核感染症の検査法や治療を規定。

(イ) 年末現在登録患者数（年齢別）

	総 数	活 動 性 結 核				不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	*潜 在 性 結 核 感 染 症 (別 掲)
		肺結核活動性			肺 外 結 核 活 動 性			
		登録時 喀痰塗 抹陽性	登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性・ その他				
総数(令和5年末)	59	7	6	1	1	10	34	18
0～9歳	1		1					3
10～19歳	2			1			1	
20～29歳	6		1				5	2
30～39歳	9	1	1			2	5	2
40～49歳	7		2			2	3	1
50～59歳	7	2	1				4	6
60～69歳	6	1				2	3	
70～79歳	4	1					3	3
80～89歳	11	1				4	6	1
90歳～	6	1			1		4	

イ 新登録患者数（令和4年・5年）

	総数	活動性結核				*潜在性結核感染症（別掲）
		肺結核活動性			肺外結核活動性	
		喀痰塗抹陽性	その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
令和4年	27	10	7	4	6	10
令和5年総数	22	10	7	1	4	10
0～9歳						2
10～19歳	1			1		
20～29歳	3		2		1	1
30～39歳	2	1	1			
40～49歳	2		2			
50～59歳	3	2	1			4
60～69歳	1	1				
70～79歳	5	3	1		1	2
80～89歳	3	2			1	1
90歳～	2	1			1	

（4）厚木保健福祉事務所感染症診査協議会（結核部会）

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」第24条の規定に基づき、申告に係る必要な事項を審議するため設置され、委員6名で組織されている。（昭和61年4月から厚木保健福祉事務所内に設置される）

ア 開催回数 24回

イ 医療費公費負担診査件数（令和5年）

	総数	37条申請	37条の2申請（一般患者）							
			小計	被用者保険		国民保険		後期高齢者	生活保護	その他
				本人	家族	一般	退職者			
申請件数（総数）	81	34	47	25	5	10		6	1	
医療内容承認	80	34	46	25	5	9		6	1	
公費負担不承認										
公費負担保留	1		1			1				

（5）結核医療従事者研修事業等研修会

実施年月日	内容	講師	参加数
令和6年2月21日	結核早期発見のための基礎知識ならびに結核を疑う患者発生時の対応	結核予防会結核研究所 医師 平尾 晋	37

6 指定難病等対策

原因が不明で治療が未確立の難病のうち、国の指定した疾病により治療を受けた者に対し、医療費公費負担申請事務の手続きを行った。平成27年1月からは「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、令和3年11月から338疾患が対象とされた。

療養上の相談に対応し、患者やその家族に対して家庭相談・訪問、講演会を実施した。また、在宅療養支援計画策定・評価事業、難病委員会により、関係機関と連携した難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に努めた。

(1) 難病委員会

難病患者及び家族に対して、保健・医療・福祉の総合的サービスが提供できるよう、支援体制の充実、管内の難病ネットワークの構築及び施策の向上を図ることを目的として開催した。

開催年月日	内 容	対 象	出席数
令和6年 2月19日	難病の方も地域で暮らせる地域包括ケアシステムの構築に向けて ～災害時の支援について～	管内医師会、管内地域包括支援センター、管内市町村担当課、かながわ難病相談・支援センター、学識経験者	19名

(2) 特定医療費（指定難病）医療援護

特定医療費支給認定申請状況（令和6年3月31日現在）

新規申請数	328件
受給者数	2,284件

(3) 所内相談・家庭訪問

難病患者及び家族に対し、適切な在宅療養上のために保健師等が相談、訪問指導を実施した。

ア 所内相談

区 分	総 数	面接	電 話	文 書
延件数	3,937	3,069	840	28

イ 家庭訪問

区 分	総 数	神経系	膠 原 病	消化器系	血液系	循環器
実件数	25	24	1			
延件数	56	55	1			

(4) 難病患者地域支援ネットワーク事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

開催年月日	内 容	講 師	出席数
令和6年1月9日 オンライン	事例検討「災害時の難病患者への個別支援」 ～在宅療養の継続と避難計画のために～	東海大学医学部看護学科講師 石原 孝子	12名

イ 訪問相談事業

訪問相談員による相談・家庭訪問 11回 家庭訪問4件

ウ 医療相談等事業

(ア) 難病相談会

開催年月日	内 容	相談員	参加数
令和5年 6月21日 10月4日 12月20日 令和6年 2月7日	難病リハビリ訪問相談	神奈川総合リハビリテーション事業団 地域リハビリテーション支援センター 理学療法士 有馬一伸、 作業療法士 清水里美、 ソーシャルワーカー 小川 淳	4件

(イ) 難病講演会

開催年月日	内 容	講 師	参加数
令和5年 11月9日 オンライン併用	IBD講演会 ～最新の治療・日常生活 や就労との両立について ～	北里大学北里研究所病院 内視鏡センター 副センター長 阿曾沼 邦央 厚木公共職業安定所 専門援助部門難病患者就職サポーター 西川 久江	25名 ・来所 13名 ・オンライン 12名

(ウ) 難病リハビリ教室（難病ふれあい教室）

開催年月日	内 容	講 師	参加数
——	実施なし	——	—

(エ) 難病患者と家族のつどい

開催年月日	内 容	講 師	参加数
——	実施なし	——	—

(5) 難病患者等保健福祉従事者研修会

開催年月日	内 容	講 師	参加数
——	実施なし	——	—

7 臓器移植対策事業

血液難病患者にとって有効な治療である骨髄移植を推進するため、骨髄ドナー登録窓口を設置した。

開催回数	登録者数
5回 (隔月1回)	1人

8 原爆被爆者援護対策（被爆者福祉対策事業）

本県では、「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（被爆者援護法）」に拠り、被爆者の方及び被爆者の子（二世）に対する援護を行っており、具体的には、生活の安定等その福祉の向上を図ることを目的に、被爆者健康手帳や被爆者のこども健康診断受診証の交付や医療特別手当等の支給に係る手続きや年2回の定期健康診断を実施した。

（1）被爆者健康手帳等交付

援護事務申請手続き受付実績		【単位:件】
A	被爆者健康手帳関係 被爆者健康手帳再交付申請	2
B	各種手当 葬祭料支給申請	8
C	医療 ・ 一般疾病医療費支給申請（委任受領） ・ 一般疾病医療費支給申請（本人受領）	1 1
D	福祉 訪問介護利用被爆者助成受給者資格認定申請	3
E	その他の事業 はり・きゅう・マッサージ施術費補助申請	4
F	被爆者のこども関係 ・ 被爆者のこどもの医療費支給申請 ・ 被爆者のこどもの健康診断受診証交付申請	15 6
G	その他、届出等	5
	計	45

（2）被爆者健康診断

受診状況

	総数	被爆者	特例受診		被爆者のこども	要精検者	要治療者
			1種	2種			
令和2年度	4	2			2	1	
令和3年度	4	2			2	2	
令和4年度	4	1			3	0	
令和5年度	4	1			3	0	

9 肝臓疾患相談事業

C型及びB型肝炎ウイルス検査を実施し、検査の普及を図るとともに、肝臓疾患患者や家族に対し、医療及び日常生活に係わる相談指導、助言を行い、病状悪化及び感染の防止を図った。

(1) C型及びB型肝炎ウイルス検査

	所内 (受診人数)	委託医療機関 (受診人数)
C型肝炎ウイルス検査	5	0
B型肝炎ウイルス検査	5	0

(2) 肝炎治療医療費助成

神奈川県肝炎治療医療給付実施要綱に基づき、B型及びC型の肝炎ウイルスのインターフェロン治療、B型肝炎ウイルスの核酸アナログ製剤治療、C型肝炎ウイルス性肝炎のインターフェロンフリー治療を行う者に対して、医療給付等の申請について県への経由事務を行った。

区分	肝炎治療医療費助成申請件数
交付申請	172
その他	13

10 石綿による健康被害の救済支援事業

「石綿による健康被害の救済に関する法律」に基づく救済給付の認定申請等の受付を行った。

本制度は、石綿（アスベスト）による健康被害を受けられた方及びそのご遺族で、労災補償制度の対象とならない方に対して救済給付の支援を行う制度である。

本制度の対象となる疾患は、石綿（アスベスト）による中皮腫や肺がんであるが、現在これらの病気にかかっている方や法施行前にこれらの病気が原因で亡くなられた方のご遺族の方ほか、認定の申請や給付の請求をすることができるものである。

相談対応

石綿（アスベスト）による健康被害に関し、健康相談や同法に基づく救済制度に係る相談に対応した。

相談件数	相談内容
2	石綿健診を実施している医療機関について、アスベスト救済法における救済支援制度に関する相談

申請受付

実績なし

第5章 環境衛生・薬事関係業務

環境衛生・薬事関係業務は、環境衛生課において地域住民が健康で快適な生活ができるよう、生活衛生営業施設の監視指導、浄化槽などの維持管理指導等を行っている。

また、医薬品等の安全性と品質を確保するため、医薬品販売業等の監視指導を行っている。

1 環境衛生営業施設指導

(1) 生活衛生営業施設数及び監視指導状況

多数の人が利用する理容所・美容所・クリーニング所・旅館等の生活衛生営業施設の許認可事務及び監視指導、住宅宿泊事業法に基づく届出受理及び施設指導を実施した。

	施設数	市別施設数内訳		許可 (確認) 件数	廃止 件数	監視指導 件数
		大和市	綾瀬市			
理容所	177	131	46	4	10	64
美容所	478	389	89	31	24	218
クリーニング所	107	70	37	1	6	29
旅館	14	13	1			2
興行場	3	2	1			
公衆浴場	22	17	5		1	7
住宅宿泊事業	5	4	1		0	
総数	806	626	180	36	41	320

(2) 生活衛生営業施設衛生講習会

理容組合及び美容組合が主催する衛生講習会に講師を派遣する予定だったが、荒天により中止となった。

対象業種	開催予定年月日	場所	備考
理容所 美容所	令和6年2月6日	大和商工会議所会議室	荒天により中止

(3) 水浴場施設数及び監視指導状況

一般に開放するプールに対し、衛生管理の徹底と事故を防止するため、監視指導を実施した。

	施設数	市別施設数内訳		監視指導 件数	
		大和市	綾瀬市		
プール	営業	8	7	1	2
	学校	36	21	15	25
	総数	44	28	16	27

2 生活環境施設指導

(1) 建築物衛生対策

ア 施設数及び監視指導状況

特定建築物における衛生的環境を確保するため、立入検査を実施した。

	施設数	市別施設数内訳		監視指導 件数
		大和市	綾瀬市	
興行場	1		1	
集会場	1	1		
図書館	1	1		
店舗	29	22	7	1
事務所	17	14	3	
学校	10	6	4	
総数	59	44	15	1

イ 建築物衛生管理業営業所数及び監視指導状況

建築物衛生管理業の登録営業所について、監視指導を行い、ビルの衛生管理の推進に努めた。

	登録 営業所数	市別施設数内訳		監視指導 件数
		大和市	綾瀬市	
建築物清掃業	7	6	1	7
建築物空気環境測定業	2	1	1	
建築物飲料水水質検査業	1	1		1
建築物飲料水貯水槽清掃業	17	15	2	9
建築物排水管清掃業	3	3		
建築物ねずみ・昆虫等防除業	3	2	1	
建築物環境衛生総合管理業	2	2		1
総数	35	30	5	18

(2) 浄化槽指導監督

ア 浄化槽設置基数及び監督指導状況

浄化槽設置届の受理及び立入検査等を実施するとともに、設置者等に対し適正な維持管理指導を実施した。

	設置基数	市別内訳		監視指導件数
		大和市	綾瀬市	
501人槽以上	4	2	2	
500人槽以下	4,621	2,391	2,230	13
総数	4,625	2,393	2,232	13

イ 浄化槽保守点検業者登録数及び監視指導状況

浄化槽保守点検業者に対し、監視指導を実施し、浄化槽の適正な維持管理の推進に努めた。

登録業者数	登録営業所数	監視指導件数
35	10	2

(3) 家庭用品衛生対策

有害物質を含有する家庭用品による健康被害の発生を防止するため、家庭用品の試買検査を実施した。

試買検体	検体数	不適検体数
繊維製品（24月以内）	18	
繊維製品（24月以内でないもの）	3	
革製品	1	
家庭用洗剤	1	
総数	23	0

(4) 住まいと環境衛生推進事業

健康で快適な住環境の確保を図るため、衛生害虫や室内環境に係る相談に対応した。

相談件数
28

3 温泉施設指導

源泉及び温泉利用施設に対し、監視指導を実施した。

	施設数	市別施設数内訳		監視指導件数
		大和市	綾瀬市	
源泉	1	1		1
利用施設	3	2	1	2

4 動物保護

(1) 飼えなくなった犬、猫の引取り状況

飼えなくなった、飼い犬・飼い猫の引取りを実施した。

	頭数	市別内訳	
		大和市	綾瀬市
犬	1	1	
猫	12	11	1
総数	13	12	1

(2) こう傷事故の発生状況

犬によるこう傷事故について調査し、飼い主に対し、飼育管理等の指導を実施することにより事故の再発防止に努めた。

	総数	市別内訳	
		大和市	綾瀬市
件数	12	7	5

(3) 犬、猫の苦情相談等の状況

動物愛護センターと連携して、犬、猫の適正な飼い方について指導等を実施した。

	総数	捕獲依頼	引取依頼	飼育公害等	負傷猫等
件数	97	0	13	82	2

5 薬事衛生施設指導

(1) 薬局等施設数及び監視指導状況

薬局・医薬品販売業等に対し、立入検査を実施し、医薬品等の適正な取扱い及び管理について指導を行い、その有効性・安全性の確保に努めた。

ア 薬局・医薬品販売業等施設数

	施設数	市別施設数内訳		監視指導 件数	違反件数
		大和市	綾瀬市		
薬局	137	115	22	108	2
医薬品販売業	店舗販売業	60	44	27	
	卸売販売業	17	13	9	
薬局医薬品製造・製造販売業	16	16		16	
医療機器販売業・貸与業	990	819	171	339	
再生医療等製品販売業	1	1			
認定薬局	10	8	2	17	
総数	1,231	1,016	215	516	2

イ 薬局等事務取扱い件数

	総数	新規申請	更新申請	変更届	廃止届	その他の届出	
薬局	716	11	22	586	8	89	
医薬品販売業	店舗販売業	219	4	5	205	3	2
	卸売販売業	24	1	5	13	5	
薬局医薬品製造・製造販売業	12		6	2	4		
医療機器販売業・貸与業	401	57	16	293	34	1	
再生医療等製品販売業	0						
認定薬局	16	2	8	4		2	
総数	1,388	75	62	1,103	54	94	

(2) 医薬品等製造施設数及び監視指導状況

医薬品等の製造業等に対し、立入検査を実施し、医薬品等の適正な製造管理について指導を実施した。

	施設数	監視指導 件数
医薬品製造業	4	
医薬部外品製造業	5	1
化粧品製造業	6	1
医療機器製造業	11	
医療機器修理業	8	3
総数	34	5

(3) 毒物劇物販売業等監視指導

ア 毒物劇物販売業等施設数及び監視指導状況

毒物劇物等による危害又は事故の発生を未然に防止するため、毒物劇物営業者等に対し、立入検査を実施し、毒物劇物等の適正な取扱い・保管・事故防止の徹底に努めた。

	施設数	市別施設数内訳		監視指導 件数	
		大和市	綾瀬市		
毒物劇物販売業	一般	72	50	22	33
	農業用品目	4	3	1	1
	特定品目	4	3	1	2
毒物劇物製造業	7	2	5	2	
毒物劇物輸入業	3	2	1	1	
業務上取扱者	6	5	1		
特定毒物研究者	1	1			1
総数	97	66	31	40	

イ 毒物劇物販売業等事務取扱い件数

	総数	新規申請	更新申請	変更届	廃止届	その他の届出	
毒物劇物販売業	一般	46	4	12	11	8	11
	農業用品目	2		1			1
	特定品目	2		2			
総数	50	4	15	11	8	12	

(4) 麻薬取扱い施設指導

ア 麻薬取扱い施設数及び監視実施状況

麻薬を取扱う施設に対し、適正な使用・管理の徹底について指導を実施した。

	麻薬 小売業者	麻薬診療施設		総数
		病院	診療所	
施設数	102	9	82	193
立入検査数	78	16	3	97

イ 麻薬取扱者免許事務取扱い件数

	新規申請	継続申請	廃止届	総数
麻薬取扱者	39	169	23	231

(5) 薬物乱用防止対策

覚醒剤・大麻等の薬物乱用の根絶を図るため、薬物乱用防止活動の推進に努めた。

ア 薬物乱用防止推進地域連絡会の開催

警察署や薬物乱用防止指導員協議会等関係機関・団体と連携し効果的な啓発活動の一層の推進を図るため、薬物乱用防止推進地域連絡会を開催した。

開催年月日	場 所	議 題
令和6年3月7日	大和センター	・管内で発生した薬物事犯について ・神奈川県における薬物乱用防止対策の実施状況と最近の薬物事情について ・来年度事業の実施予定について

イ 薬物乱用防止啓発活動

神奈川県薬物乱用防止指導員協議会大和・綾瀬支部と、薬物乱用防止推進地域連絡会構成団体・機関と協力し、薬物乱用防止街頭キャンペーンを実施した。

開催年月日	場 所	参加者数	リーフレット等配布数
令和5年5月13日	大和駅南改札口付近 大和駅北改札口付近	12	300セット
令和5年7月4日	大和オークシティ	71	1,000セット
令和5年11月1日	綾瀬タウンヒルズ 綾瀬市役所ロビー	47	500セット

啓発活動内容

幟旗の設置及び啓発資材（リーフレット、クリアファイル、ウェットティッシュ、マスク、絆創膏、テープのり、エコバッグ）の配布を行い、薬物乱用防止を呼び掛けた。

第6章 食品衛生業務

食品衛生課において、食品等に起因する事故を防止するため、営業施設に対する監視指導、食品の検査、衛生教育等の業務を行っている。

1 食品営業施設の監視指導

飲食店営業、食品製造業及び大規模小売店等食品関係施設に対し、許認可及び監視指導を実施した。

(1) - 1 旧食品衛生法に基づく許可営業(令和3年5月31日までに許可を受けた施設)

	地区別施設数				許可取扱数		廃業件数	監視指導件数
	総数	大和市	綾瀬市	移動営業	継続	新規		
飲食店営業	1,326	1,085	210	31			205	82
菓子製造業	105	65	31	9			17	14
乳処理業	1		1					1
特別牛乳搾取処理業								
乳製品製造業	2		2					1
集乳業								
魚介類販売業	28	20	8				4	8
魚介類競り売り営業								
魚肉練り製品製造業	1	1						
食品の冷凍又は冷蔵業	3	2	1					4
缶詰又は瓶詰食品製造業	2		2					
喫茶店営業	28	19	5	4			8	3
あん類製造業								
アイスクリーム類製造業	1	1						
食肉処理業	8	5	3					4
食肉販売業	28	21	7				1	8
食肉製品製造業	2	1	1				6	1
乳酸菌飲料製造業	1		1					1
食用油脂製造業	1		1				2	
マーガリン又はショートニング製造業								
みそ製造業								
しょうゆ製造業								
ソース類製造業							1	
酒類製造業								
豆腐製造業	1	1					1	2
納豆製造業								
麺類製造業								
そうざい製造業	22	10	12				2	10
添加物製造業	1	1						
食品の放射線照射業								
清涼飲料水製造業	3		3					2
氷雪製造業								
合計	1,564	1,232	288	44	0	0	247	141

(1) - 2 改正食品衛生法に基づく許可営業 (令和3年6月1日以降に許可を受けた施設)

	地区別施設数				許可取扱数		廃業件数	監視指導件数
	総数	大和市	綾瀬市	移動営業	継続	新規		
飲食店営業	1,189	876	134	179		448	42	694
調理の機能を有する自動販売機	9	6	3			5	6	5
食肉販売業	22	15	7			13	2	16
魚介類販売業	27	22	5			10		14
魚介類競り売り営業								
集乳業								
乳処理業								
特別牛乳搾取処理業								
食肉処理業	6	5	1			3		4
食品の放射線照射業								
菓子製造業	95	68	24	3		34	3	39
アイスクリーム類製造業	2	2						
乳製品製造業	3	3						1
清涼飲料水製造業	2	2				1		1
食肉製品製造業	6	3	3			1		7
水産製品製造業	1	1						
氷雪製造業								
液卵製造業								
食用油脂製造業	1		1			1		1
みそ又はしょうゆ製造業	3		3			1		2
酒類製造業	1		1					
豆腐製造業	3	2	1			1		
納豆製造業								
麺類製造業								
そうざい製造業	27	21	6			8		10
複合型そうざい製造業	4	2	2			1		2
冷凍食品製造業								
複合型冷凍食品製造業								
漬物製造業	7	1	6			4		5
密封包装食品製造業	5	2	3			3		3
食品の小分け業	2		2			1		1
添加物製造業	1		1					
合計	1,416	1,031	203	182	0	535	53	805

(2) 届出を要する営業

		地区別施設数				監視指導 件数
		総数	大和市	綾瀬市	移動営業	
※旧許可業種で あった営業	魚介類販売業 (包装済みの魚介類のみの販売)	8	6	2		
	食肉販売業 (包装済みの食肉のみの販売)	41	27	14		7
	乳類販売業	63	41	22		4
	冰雪販売業	2	2			
	コップ式自動販売機 (自動洗浄・屋内設置)	201	155	46		1
販売業	弁当販売業	10	6	4		
	野菜果物販売業	28	22	6		5
	米穀類販売業	8	6	2		
	通信販売・訪問販売による 販売業	8	5	3		1
	コンビニエンスストア	158	114	44		14
	百貨店、総合スーパー	73	54	19		26
	自動販売機による販売業 (コップ式自動販売機(自動洗 浄・屋内設置)を除く。)	205	148	57		1
	その他の食料・飲料販売業	217	169	45	3	12
製造加工業	添加物製造・加工業(法第13条 第1項の規定により規格が定め られた添加物の製造を除く。)					
	いわゆる健康食品の製造・加工業	4	3	1		3
	コーヒー製造・加工業 (飲料の製造を除く。)	15	12	2	1	1
	農産保存食料品製造・加工業	1		1		
	調味料製造・加工業	5	4	1		3
	糖類製造・加工業					
	精穀・製粉業	2	1	1		2
	製茶業	1	1			
	海藻製造・加工業	1	1			
	卵選別包装業	3		3		1
	その他の食料品製造・加工業	30	12	15	3	3
上記以外のもの	行商	1			1	
	集団給食施設	140	107	33		31
	器具、容器包装の製造・加工業 (合成樹脂が使用された器具又 は容器包装の製造、加工に限る。)	5	2	3		2
	露店、仮設店舗等における飲食の 提供のうち、営業とみなされない もの					26
	その他	7		7		
合 計	1,238	898	331	8	143	

※令和3年6月1日から届出業種に移行した営業

(3) ふぐ営業

	地区別施設数		
	総数	大和市	綾瀬市
ふぐ営業認証施設	17	16	1
ふぐ加工製品取扱い等届出施設	82	68	14

(4) 食品関係等の苦情処理

消費者から寄せられた食品等に係わる苦情相談に対して、迅速、適確な処理に努めた。

	件数	異物混入	かび	腐敗変敗	異味異臭	不衛生	容器包装不良	有症苦情	その他
乳・乳製品・乳類加工品									
魚介類及びその加工品	6	1			1			4	
肉・卵類及びその加工品	12	5				1		6	
穀類及びその加工品	1	1							
野菜類（豆類を含む）及びその加工品	2				1				1
菓子類									
その他の食品	17	10			2	1		4	
不明									
施設に関するもの	22					8			14
合計	60	17			4	10		14	15

(5) 食品等の検査

違反食品、不良食品等を排除するため、管内で製造又は流通する食品について、計画的に収去検査を実施した。

	収去検体数	不適検体数	不適内訳	
			理化学	細菌
鮮魚介類	4	0		
冷凍食品	3	0		
魚介類加工品	3	0		
肉卵類及びその加工品	6	0		
乳				
乳製品				
乳類加工品				
アイスクリーム類・氷菓				
穀類及びその加工品				
野菜・果物及びその加工品				
菓子類	8	0		
清涼飲料水	1	0		
缶詰・瓶詰食品				
その他の食品	20	0		
添加物（化学的合成品）				
器具・容器包装	5	0		
合計	50	0		

(6) 免許取扱事務

	申請				届出	総数
	免許	書換	再交付	名簿登録削除	返納	
調理師	58	10	10			78
製菓衛生師	13	3				16
ふぐ包丁師	1					1
合計	72	13	10			95

2 自主衛生管理の推進

(1) 食品衛生責任者講習会実施状況

営業者の自主管理の推進を目的に、食中毒予防・危機管理・食品衛生について講習会を開催した。また、動画視聴によるeラーニング版の講習会も実施した。

	開催年月日	講習会内容	受講者数
1	令和5年4月13日	臨時出店における指導等について	80
2	6月13日	食品衛生指導員研修会	21
3	7月13日	臨時出店における指導等について	15
4	10月6日	食品衛生指導員研修会	15
5	10月5日	臨時出店における指導等について	17
6	11月30日	大和市民まつりに係る出店説明会	16
7	令和6年2月8日	食品衛生責任者講習会	17
8	2月14日	食品衛生責任者講習会	16
9	2月19日	食品衛生責任者講習会	39
10	2月27日	食品衛生責任者講習会	48
11	3月5日	食品衛生責任者講習会	9
12	3月7日	食品衛生責任者講習会	4
	合	計	297

3 食品衛生知識の啓発普及

(1) 消費者等を対象とした食品衛生講習会実施状況

	開催年月日	講習会内容	受講者数
1	令和5年8月24日	大和市食生活改善推進員養成講座	21
2	令和5年9月13日	綾瀬市食生活改善推進員養成講座	7
	合	計	28

(2) 食中毒予防キャンペーン

大和市、綾瀬市、大和商工会議所、綾瀬市商工会の後援を得て、食中毒の発生しやすい時期に大和食品衛生協会と共催で大和駅前等4か所で食中毒予防キャンペーンを実施した。

開催日：令和5年8月1日

(3) 食中毒発生状況

発生年月日	喫食者数	患者数	病因物質
令和5年11月6日	2	1	アニサキス
令和6年3月17日	2	2	アニサキス

第7章 研究発表等

令和5年度学会等発表

保健予防課

第 45 回（令和 5 年度）地域保健師研究発表会

開催年月日	テーマ	場 所
令和5年 12 月 18 日	厚木保健福祉事務所大和センター管内 の結核患者への服薬支援について 澤田陽子	神奈川県開発支援センター 研修ホール

令和5年度

厚木保健福祉事務所大和センター年報

発行日	令和6年11月
発行者	神奈川県厚木保健福祉事務所大和センター 〒242-0021 大和市中央1-5-26
編集責任者	神奈川県厚木保健福祉事務所大和センター所長 西海 昇
	電話 (046)261-2948 (代)
	FAX (046)261-7129

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/e7a/kanrikikaku/R5nenpo.html>

本年報は上記ホームページに掲載しています



神奈川県

厚木保健福祉事務所大和センター

大和市中央 1-5-26 〒242-0021 電話 (046) 261-2948 (代表)

FAX (046) 261-7129